2027年６月期 第１四半期
決算説明資料

2026年11月13日

株式会社And Doホールディングス
【3457】

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

企業理念

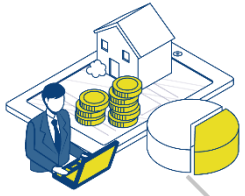
お客様の豊かさ、社員の豊かさ、
社会の豊かさを常に創造し、
末永い繁栄と更なる幸福を追求します。



Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

And Doの創出価値と役割

生活者・企業・金融機関に対して、不動産を軸に時代のニーズに即したソリューションを提供



金融



不動産



テクノロジー

&DO HOLDINGS

全国の店舗網

HOUSEDO



お客様のより近くに、
安心・便利な窓口を創り出す。
国内1,000店　アジア50,000店

時代のニーズに即した
ソリューション



生活者



企業



金融機関

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産流通の活性化を通じて、さまざまな社会課題解決に貢献

中古住宅市場の活性化

全国ネットワーク構築による情報のオープン化及び中古買取再販事業の拡大により、中古住宅市場を活性化



空き家の増加抑制

不動産流通の活性化、流動化による相続対策など、空き家の増加抑制に貢献



老後資金の確保

リバースモーゲージ保証事業、ハウス・リースバックにより不動産資産を活用し、資金調達を可能に



住宅の長寿命化

良質な中古住宅を再生し、市場での流通を促進することで、住宅寿命の長期化に貢献



Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

INDEX

1. 2027年6月期　第１四半期　連結決算概要

2. 2027年6月期　第１四半期　セグメント別決算概要

3. 2027年6月期　年度計画及び中期経営計画

4. 会社概要

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

INDEX

1. 2027年6月期　第１四半期　連結決算概要

2. 2027年6月期　第１四半期　セグメント別決算概要

3. 2027年6月期　年度計画及び中期経営計画

4. 会社概要

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

中期経営計画　基本方針サマリー

① 事業ポートフォリオの再構築

・成長強化事業に資源を集中
（フランチャイズ・不動産売買・金融）

・ノンコア事業の譲渡・統合・縮小

② 利益率改善

・高利益率事業の成長

・不動産売買事業の仕入精度向上による粗利率改善

・事業の選択と集中、業務効率化による間接部門コストの削減

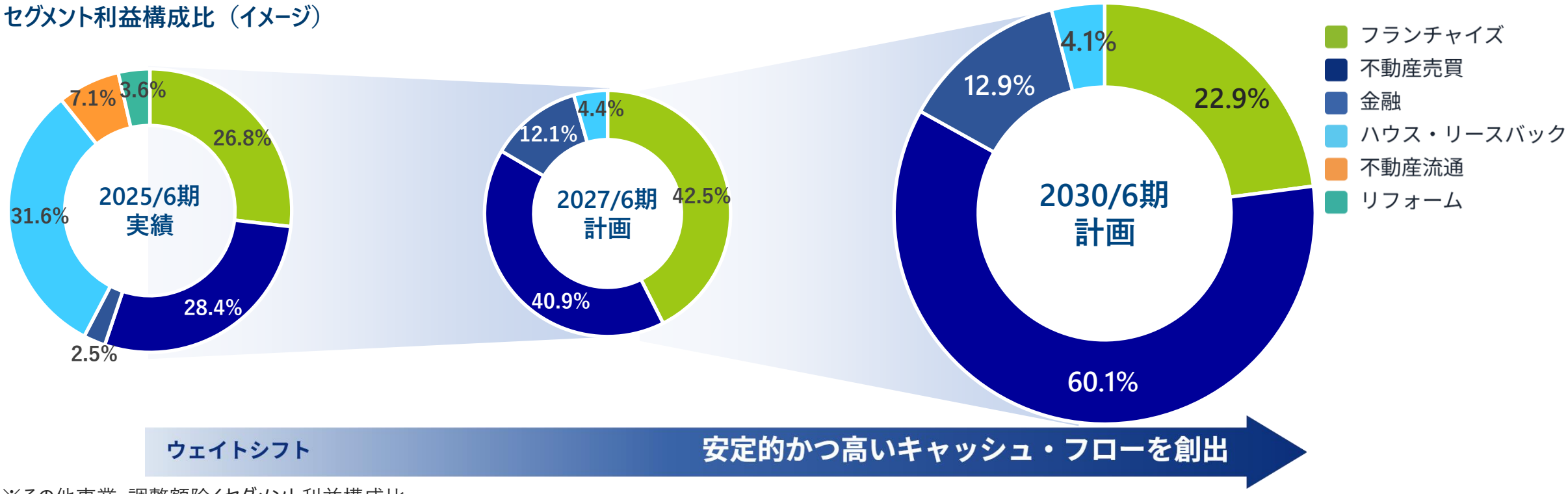
③ 資本回転率の向上

・中古買取再販強化による在庫回転率向上

・高ROIC事業（フランチャイズ・金融）の拡大

・固定資産の売却

セグメント利益構成比（イメージ）



※その他事業・調整額除くセグメント利益構成比

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

2027年6月期　第１四半期　業績進捗

■ すべての成長強化事業が前年同期を上回り、１Q業績は増収増益

■ ２Q累計予想に対する進捗率は営業利益57.7%、経常利益73.9%と計画を上回る良好なスタート

売上高	132.2 億円	（前年同期比　+ 10.7% ）	営業利益	3.2 億円	（前年同期比　+ 58.8% ）
経常利益	3.9 億円	（前年同期比　+ 114.0% ）			

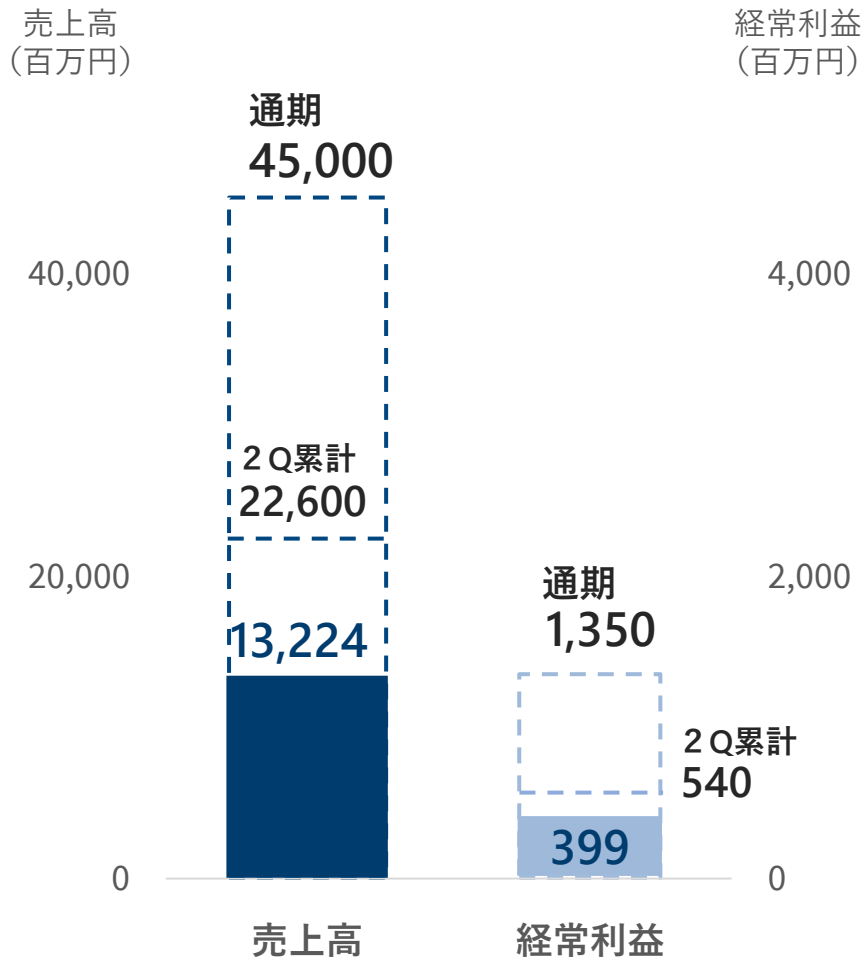
トピックス

■潜在需要が大きく高単価な事業性極度型保証で、2金融機関目となる朝日信用金庫と提携
金融事業の保証残高積み上げを再加速

■不動産売買事業にて、営業人員の増強に伴い対応エリアを拡大
九州地方最大かつ中古住宅流通が活発な福岡市に博多駅東口店を新規オープン

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

2027年6月期　第１四半期　当初計画に対する進捗率



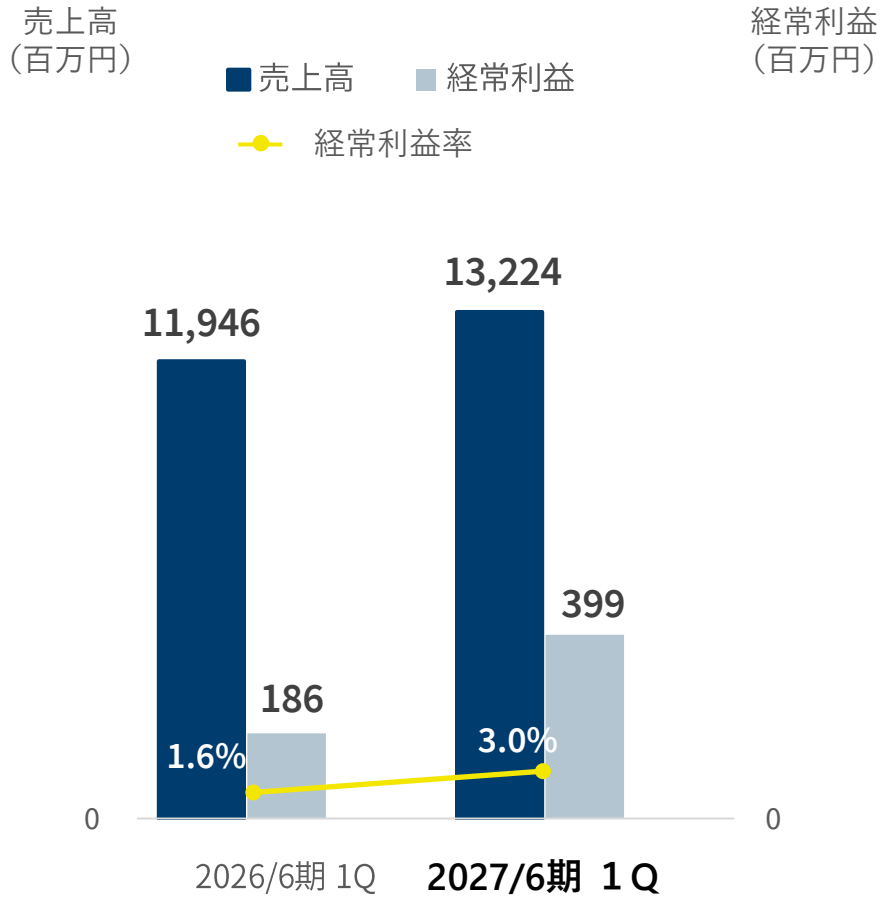
単位（百万円）

	2027/6期 1Q実績	2Q累計（予）	2Q累計 進捗率	2027/6期（予）	通期 進捗率
売上高	13,224	22,600	58.5%	45,000	29.4%
営業利益	329	570	57.7%	1,400	23.5%
経常利益	399	540	73.9%	1,350	29.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	257	349	73.5%	891	28.9%
1株当たり純利益（円）	12.87	17.52	—	44.62	—

■各事業が順調に進捗し、良好なスタート　２Q累計進捗率　売上高：58.5%　経常利益 ：同73.9%
■下期偏重を見込む通期計画に対して、経常利益及び四半期純利益は、１Q時点で約30%まで進捗

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

2027年6月期　第１四半期　連結損益計算書概要



単位（百万円）

（前年同期比較）	2026/6期 1Q	売上対比	2027/6期 1Q	売上対比	対前期増減率
売上高	11,946	100.0%	13,224	100.0%	+ 10.7%
売上総利益	2,714	22.7%	2,581	19.5%	▲ 4.9%
販売費及び一般管理費	2,507	21.0%	2,251	17.0%	▲ 10.2%
営業利益	207	1.7%	329	2.5%	+ 58.8%
営業外収益	211	1.8%	339	2.6%	+ 60.6%
営業外費用	232	1.9%	269	2.0%	+ 16.1%
経常利益	186	1.6%	399	3.0%	+ 114.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	18	0.2%	257	1.9%	+ 1301.2%
EBITDA※	422	3.5%	510	3.9%	+ 20.9%

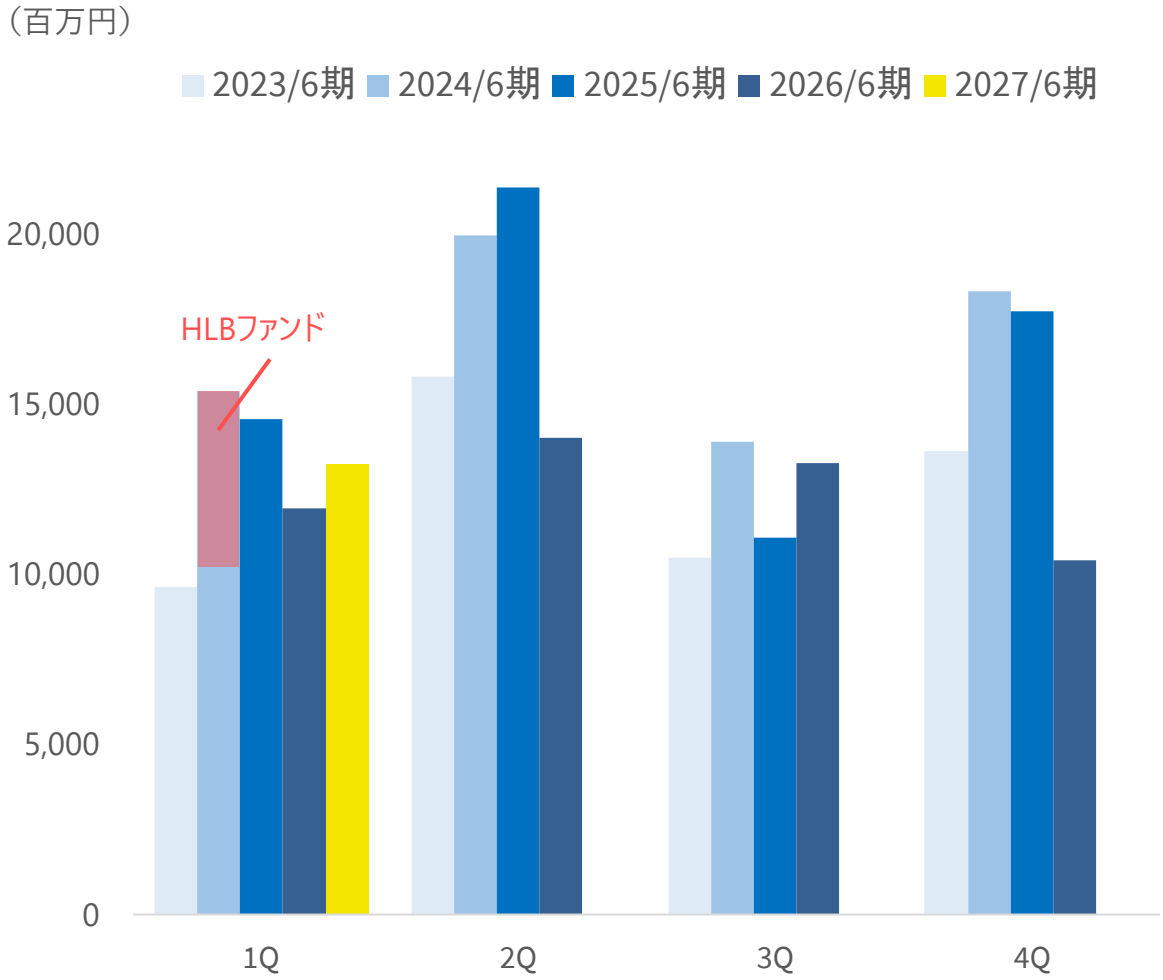
※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

■不動産売買事業をはじめ、成長強化事業がそれぞれ伸長し、増収増益
■売上総利益（率）の前年同期比減は、リフォーム事業譲渡、ﾊｳｽ･ﾘｰｽﾊﾞｯｸ事業の縮小の影響

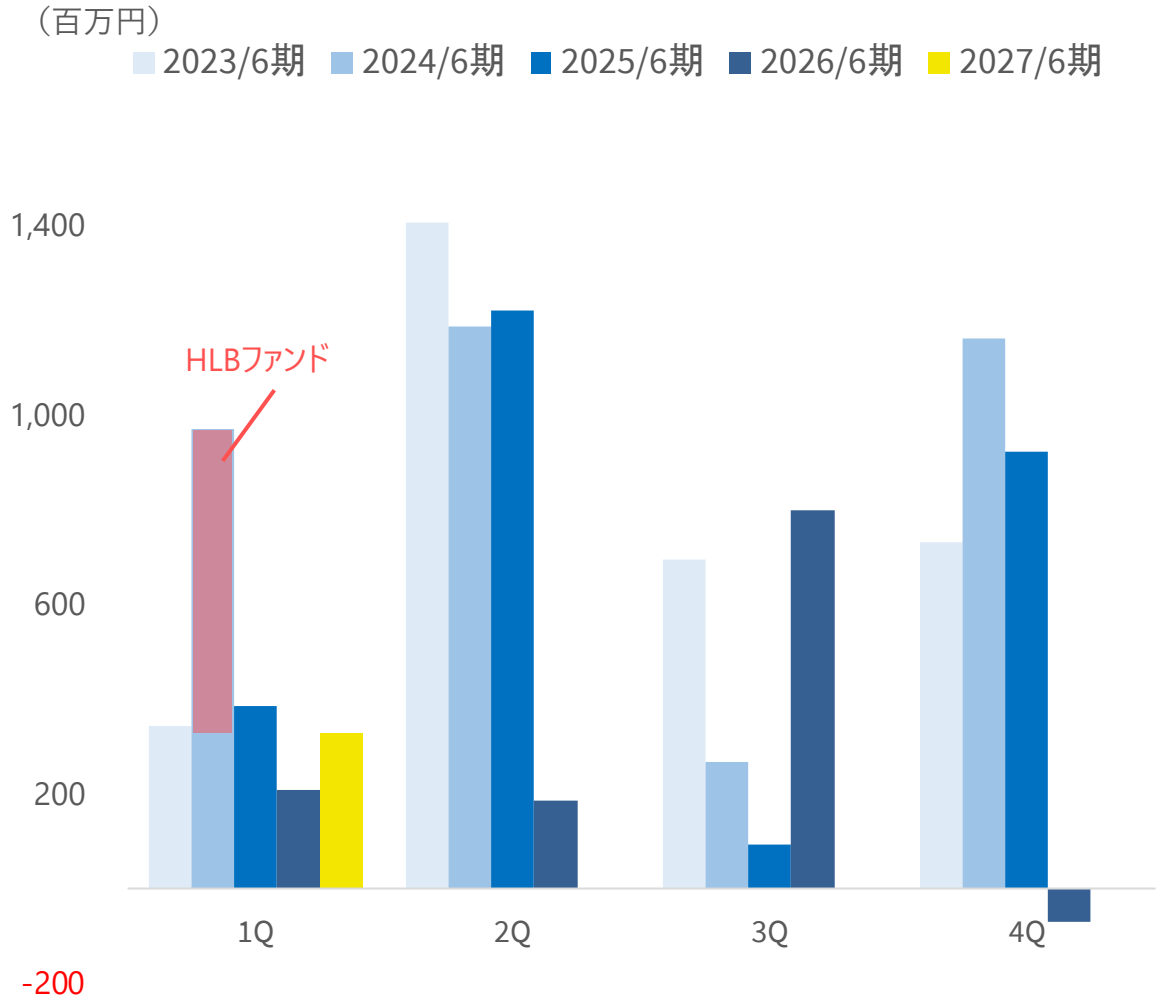
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

四半期業績推移

四半期売上高推移



四半期営業利益推移



■24/6期のHLBファンド譲渡の影響を除き、１Qは売上高及び営業利益ともに、事業ポートフォリオ再構築前の水準を確保

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

連結貸借対照表

（百万円）	2026/6期	2027/6期 1Q	増減
流動資産	52,551	49,698	▲ 2,853
現金及び預金	9,335	9,191	▲ 144
棚卸資産	39,823	36,870	▲ 2,952
その他	3,393	3,636	+ 243
固定資産	15,246	15,955	+ 708
有形固定資産	6,125	6,590	+ 465
無形固定資産	1,111	1,090	▲ 21
投資その他の資産	8,010	8,274	+ 263
資産合計	67,798	65,653	▲ 2,145
流動比率	159.5%	156.7%	▲2.8pt
固定比率	80.2%	86.9%	+6.7pt

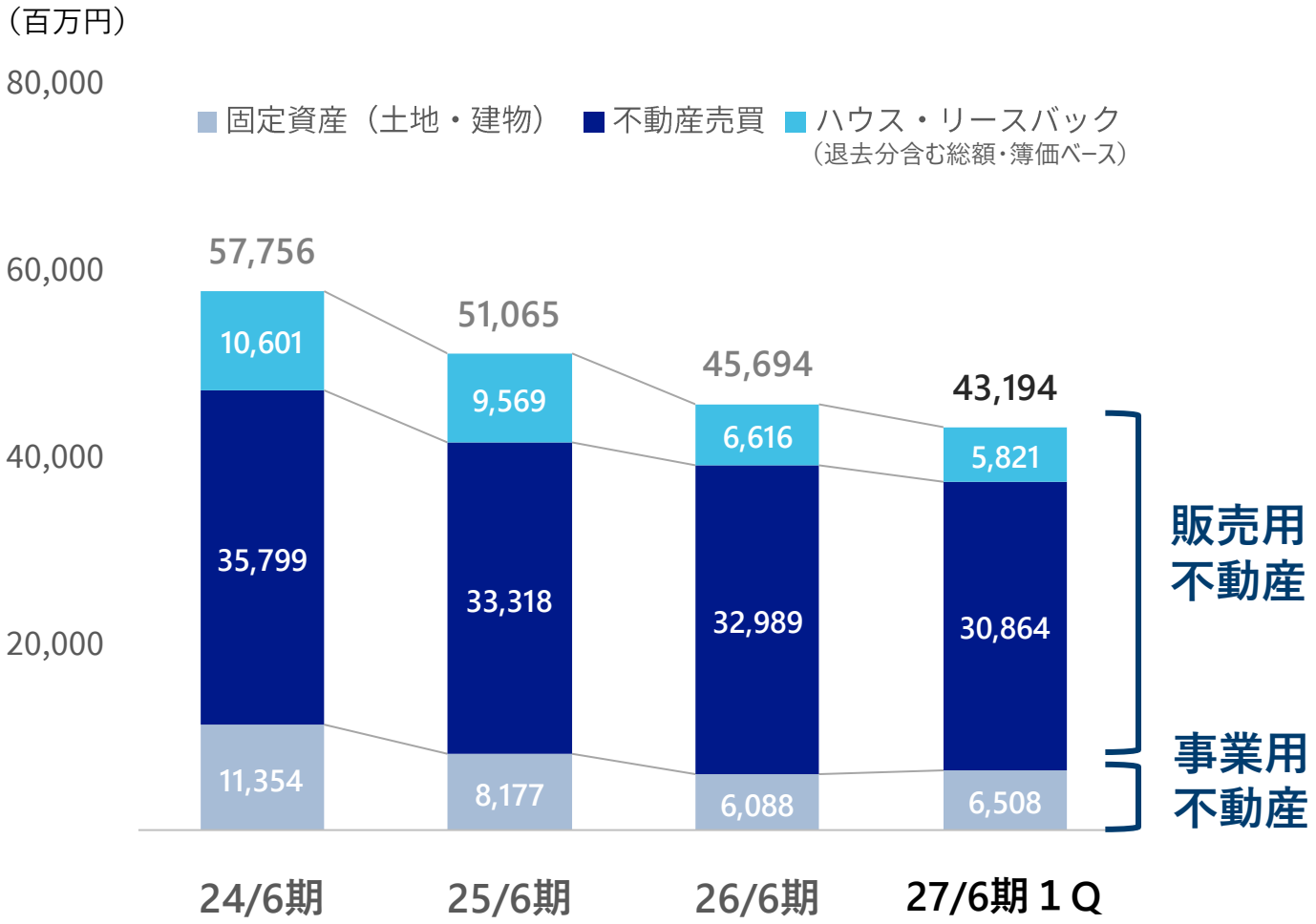
（百万円）	2026/6期	2027/6期 1Q	増減
負債	48,780	47,295	▲ 1,484
流動負債	32,943	31,715	▲ 1,228
固定負債	15,836	15,580	▲ 256
（有利子負債）	44,270	43,360	▲ 909
純資産	19,018	18,357	▲ 660
株主資本	18,963	18,302	▲ 661
その他包括利益累計	47	48	+0
新株予約権	7	7	+0
負債純資産合計	67,798	65,653	▲ 2,145
D/Eレシオ	2.3倍	2.4倍	+0.0倍
自己資本比率	28.0%	28.0%	▲0.1pt

■有利子負債は、引き続き抑制が進む　純資産の減少は、配当の支払いによるもの
■金利上昇局面において、在庫回転率と有利子負債のバランスには十分に留意し、業績拡大を図る

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

保有不動産の状況

■中古住宅をはじめ売却が進み、在庫の総量は減少　２Q以降は、仕入の増加により積み上げを見込む



不動産売買事業

前期末比 ▲ 21.2 億円

ハウス・リースバック事業

前期末比 ▲ 7.9 億円

固定資産（土地・建物）

前期末比 ＋ 4.2 億円

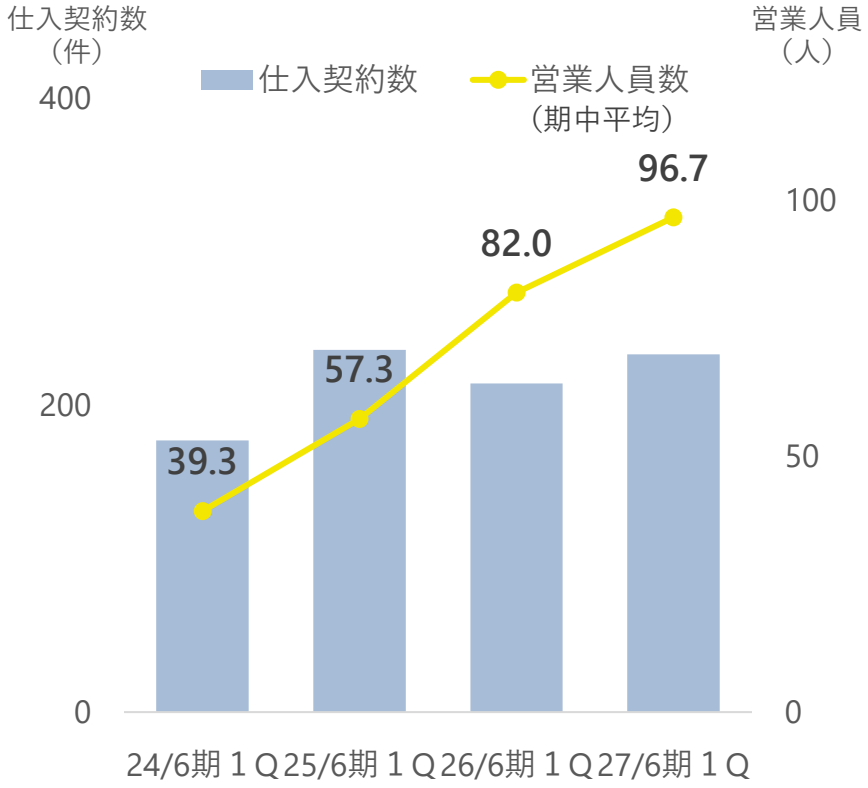
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産売買事業の状況サマリー

■仕入は前年を上回るペースで進むも、売却が好調につき在庫は横ばい
■中古住宅買取再販強化により、回転率は改善が続く良好な推移

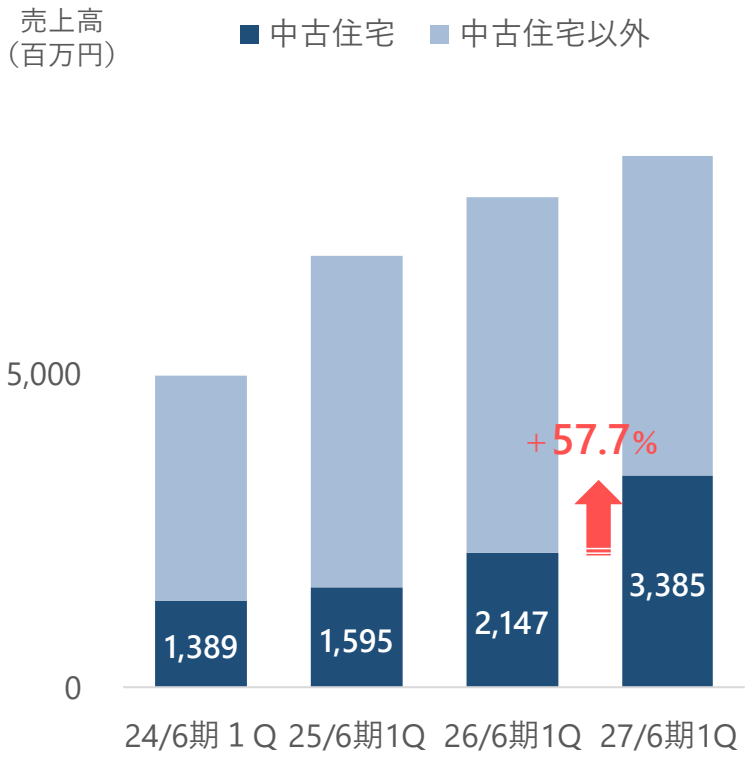
営業人員数と仕入契約数の推移

■営業人員数は、引き続き順調に増加



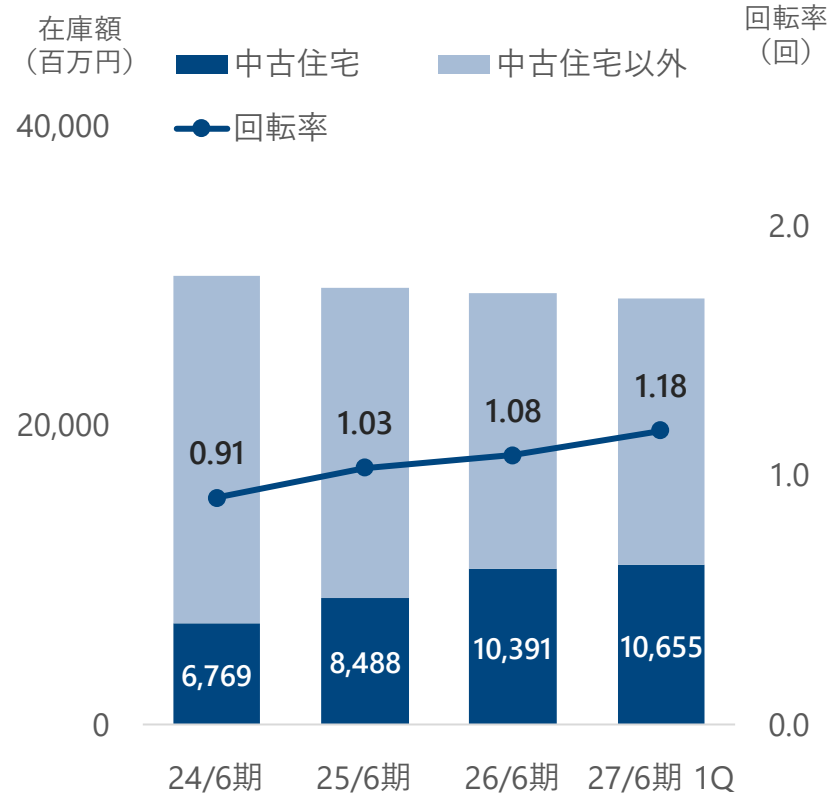
住宅系売上高推移・物件種別内訳

■中古住宅売上高は、前年同期比＋57.7%



住宅系在庫内訳・回転率推移

■在庫の中古住宅比率・回転率は右肩上がりで推移



Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

販売費及び一般管理費の内訳

（百万円）

	2026/6期 1Q	売上対比	2027/6期 1Q	売上対比	増減率
販売費及び一般管理費	2,507	21.0%	2,251	17.0%	▲ 10.2%
人件費	984	8.2%	822	6.2%	▲ 16.5%
広告宣伝費	216	1.8%	181	1.4%	▲ 16.1%
事務所維持費	87	0.7%	78	0.6%	▲ 10.6%
その他販売管理費	1,218	10.2%	1,169	8.8%	▲ 4.0%
（売上総利益	2,714	22.7%	2,581	19.5% ）	

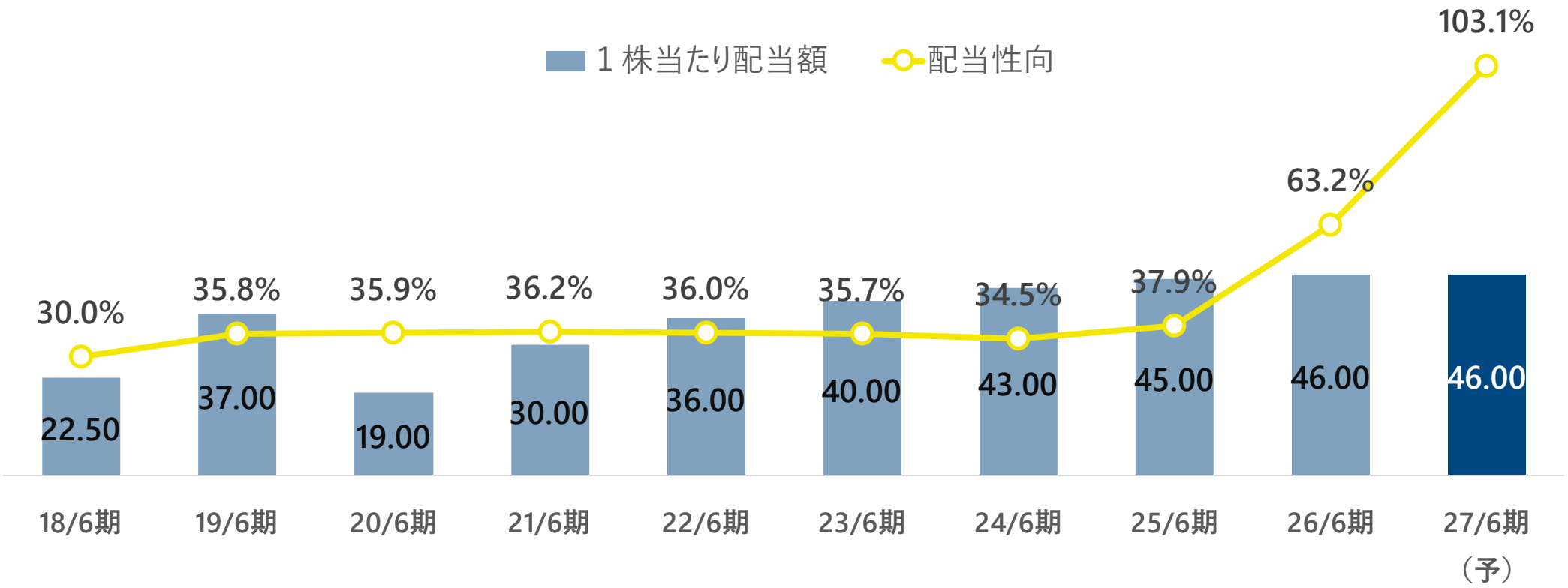
■一部の事業譲渡、縮小に加え、間接コスト削減により販管費は抑制
■成長投資は積極的に行い、業績拡大による利益率改善に努める

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

株主還元について【配当】

■将来の成長投資とのバランスを勘案し、配当性向30%以上を基本水準
■安定的かつ継続的な配当を実施➡27/6期予想は前期と同額を維持

2027年6月期末配当（予想）：１株当たり46円（配当性向103.1%）



※1株当たり配当額は、2018年7月1日付で普通株式1株を2株に分割した影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

株主還元について【株主優待制度】

【概要】

①対象となる株主様
毎年6月 30 日現在の株主名簿に記載又は記録された、当社株式 5 単元（500株）以上を保有する株主様を対象

②株主優待の内容
保有する株式数に応じたポイントが加算され、株主様限定の特設サイトにおいて、そのポイントと食品、電化製品、ギフト等に交換。

保有株式数	付与されるポイント	
	初年度	1 年以上継続保有
500～599株	3,000ポイント	3,300ポイント
600～699株	4,000ポイント	4,400ポイント
700～799株	5,000ポイント	5,500ポイント
800～899株	6,000ポイント	6,600ポイント
900～999株	8 ,000ポイント	8,800ポイント
1,000～1,999株	10,000ポイント	11,000ポイント
2,000株以上	40,000ポイント	44,000ポイント

（注） 1 年以上継続保有＝6月 30 日現在の株主名簿に同一株主番号で連続2回以上記載されること



Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

INDEX

1. 2027年6月期　第１四半期　連結決算概要

2. 2027年6月期　第１四半期　セグメント別決算概要

3. 2027年6月期　年度計画及び中期経営計画

4. 会社概要

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

単位（百万円）	売上高			営業利益		
	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	増減率	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	増減率
フランチャイズ事業	825	878	+ 6.4%	458	525	+ 14.7%
不動産売買事業	8,124	10,291	+ 26.7%	389	429	+ 10.2%
金融事業	146	157	+ 7.5%	47	50	+ 6.5%
ﾊｳｽ･ﾘｰｽﾊﾞｯｸ事業	2,424	1,934	▲ 20.2%	302	204	▲ 32.3%
その他	465	0	－	8	▲ 2	－
調整額	▲ 40	▲ 38	－	▲ 999	▲ 878	－
合計	11,946	13,224	+ 10.7%	207	329	+ 58.8%

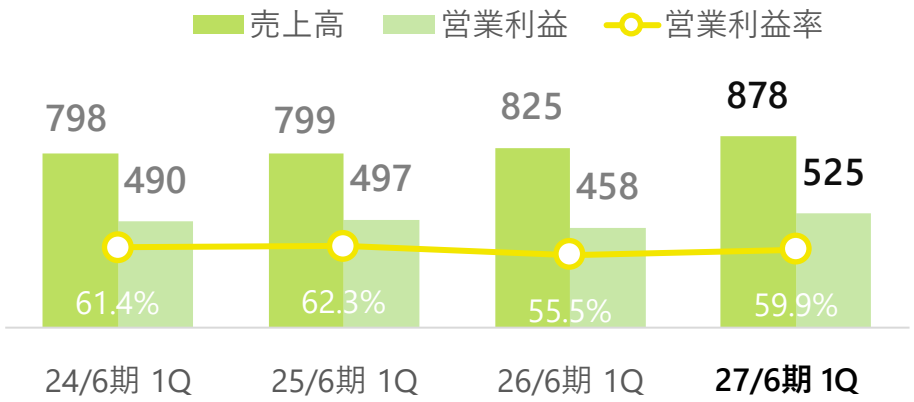
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

フランチャイズ事業

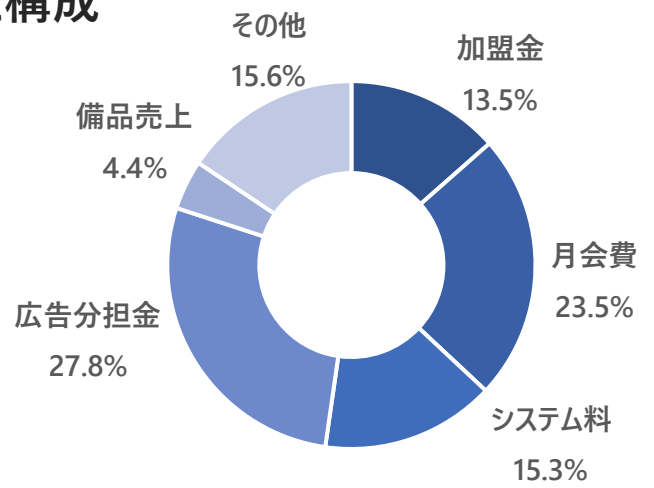
セグメント業績

	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	増減率	2027/6期（予）	通期進捗率
売上高（百万円）	825	878	+ 6.4%	3,561	24.7%
営業利益（百万円）	458	525	+ 14.7%	2,110	24.9%
営業利益率（%）	55.5%	59.9%	—	59.2%	—
累計加盟店舗数	726	742	—	781	—
累計開店店舗数	619	647	—	685	—

売上高・営業利益推移



売上構成



■加盟店フォロー体制の強化により開店店舗数が順調に増加、退会数も低水準にとどまったことで、業績は順調に拡大
■金利上昇局面において、金融機関の中小企業に対する融資動向に留意し、新規加盟開発に努める

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

フランチャイズ事業　店舗数

■新規開店店舗数が引き続き順調に拡大し、累計開店店舗数は前期末から10店舗の純増

地域別店舗数



※カッコ内は前期末比増減

新規加盟店舗数

24 店舗 （前年同期比 ▲ 25.0% ）

新規開店店舗数

24 店舗 （前年同期比 + 20.0% ）

累計加盟店舗数

742 店舗 （前期末比 + 9 ）

累計開店店舗数

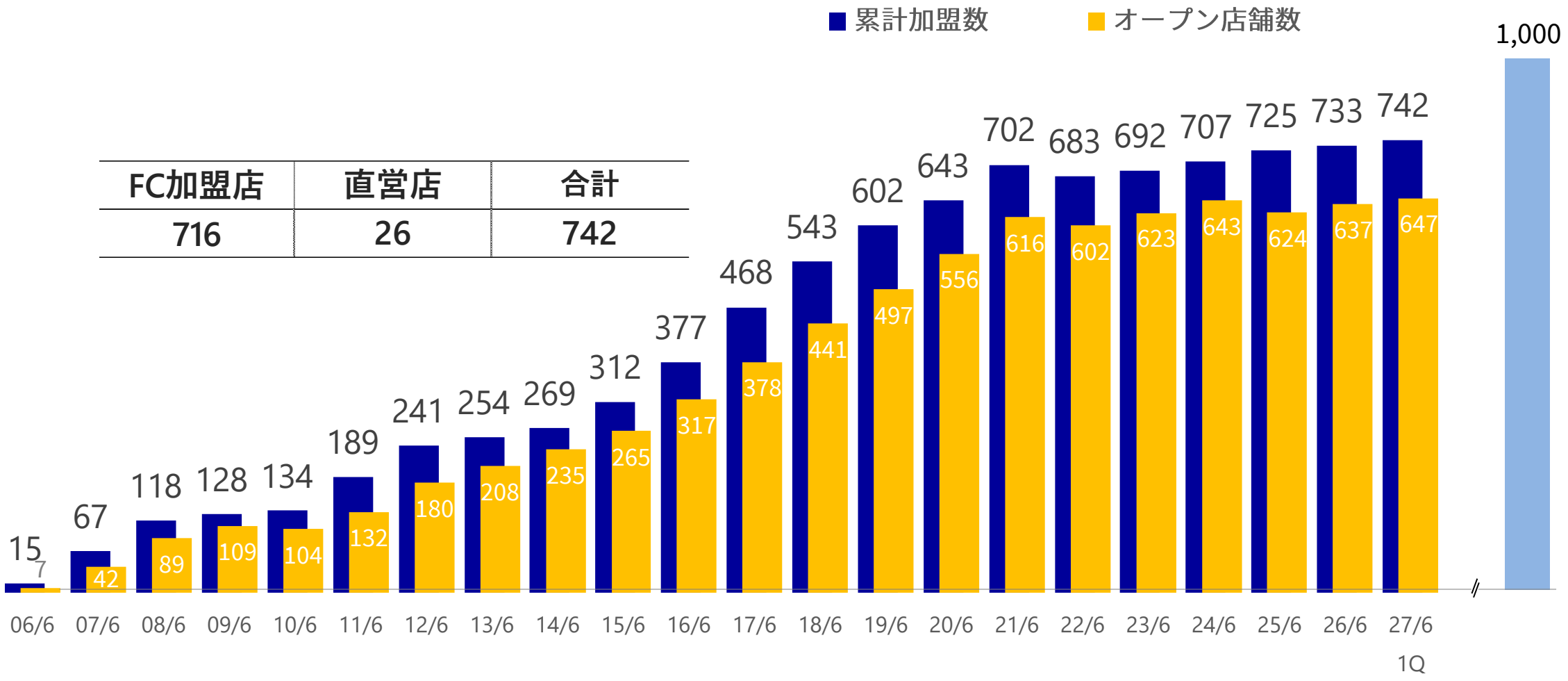
647 店舗 （前期末比 + 10 ）

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

フランチャイズ事業　店舗数推移

2026年９月末日現在　742店舗　※内準備中 95店舗（レントドゥ含む）

FC加盟店	直営店	合計
716	26	742



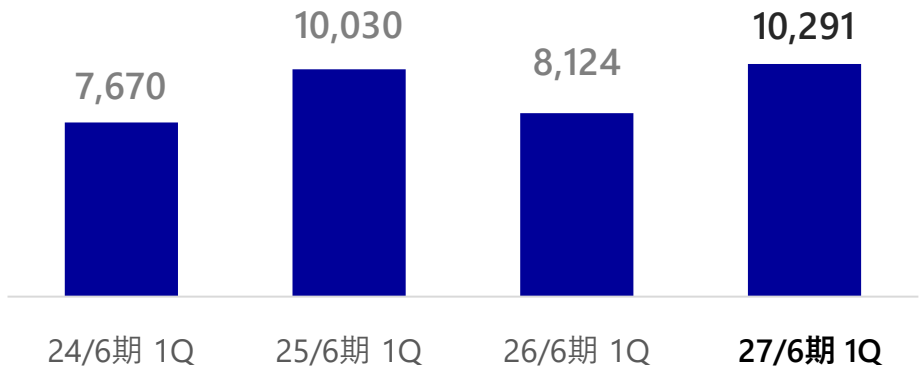
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産売買事業

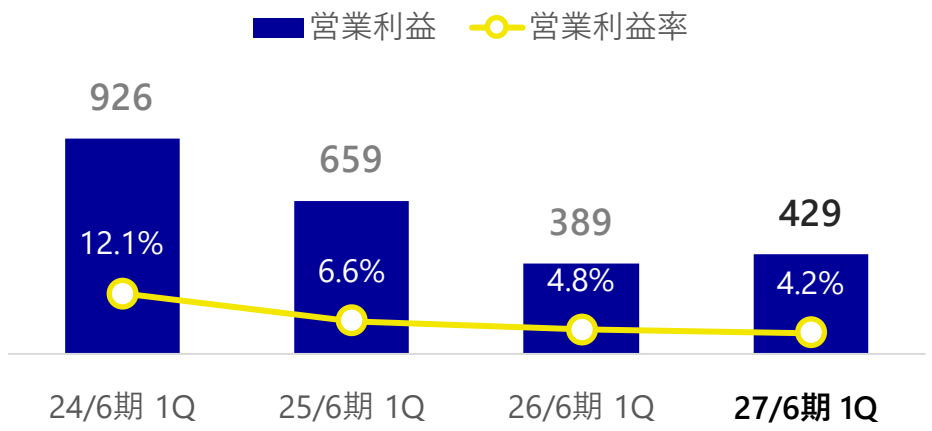
セグメント業績

	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	増減率	2027/6期（予）	通期進捗率
売上高（百万円）	8,124	10,291	+ 26.7%	36,350	28.3%
うち中古住宅売上高（百万円）	2,147	3,385	+ 57.7%	12,000	28.2%
営業利益（百万円）	389	429	+ 10.2%	2,030	21.1%
営業利益率（%）	4.8%	4.2%	－	5.6%	－
売却件数（件）	327	330	+ 0.9%	1,315	25.1%

売上高推移



営業利益推移



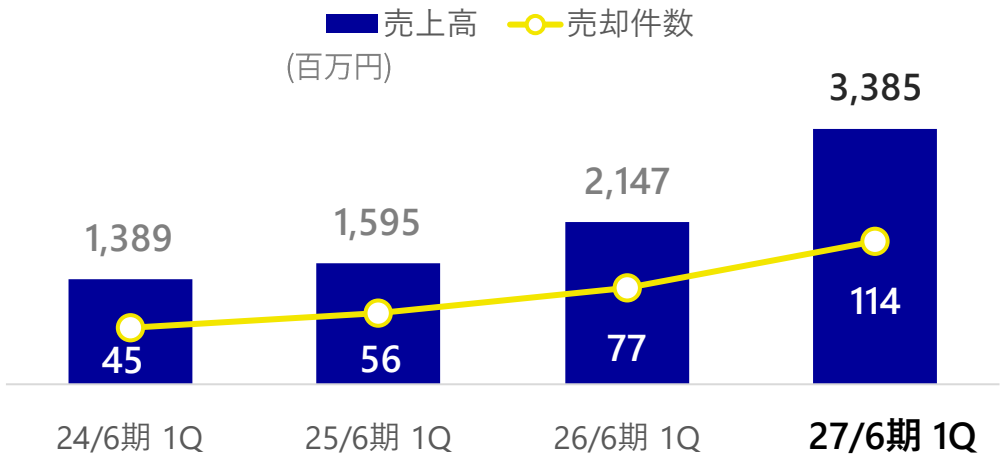
■売却件数は横ばいも、単価上昇により売上高は増加　中古住宅の売却も大きく伸長し、業績は良好な進捗
■9月は福岡市に新規出店　営業人員の増強に伴い、対応エリアも順次拡大中

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

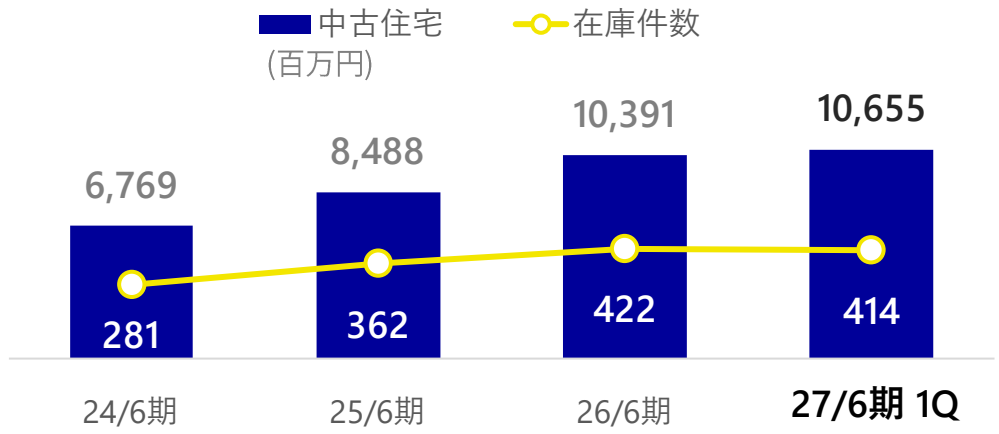
中古住宅買取再販　売却・在庫の状況

■売上高は大幅伸長　仕入も前年同期を上回るペースで進むも、売却が上回り在庫は横ばい

中古住宅売却売上高・件数



中古住宅在庫額・件数



中古住宅売却件数

前年同期比　＋ 48.1 %

中古住宅売却売上高

前年同期比　＋ 57.7 %

中古住宅在庫件数

前期末比　▲ 8 件

中古住宅在庫額

前期末比　＋ 2.6 億円

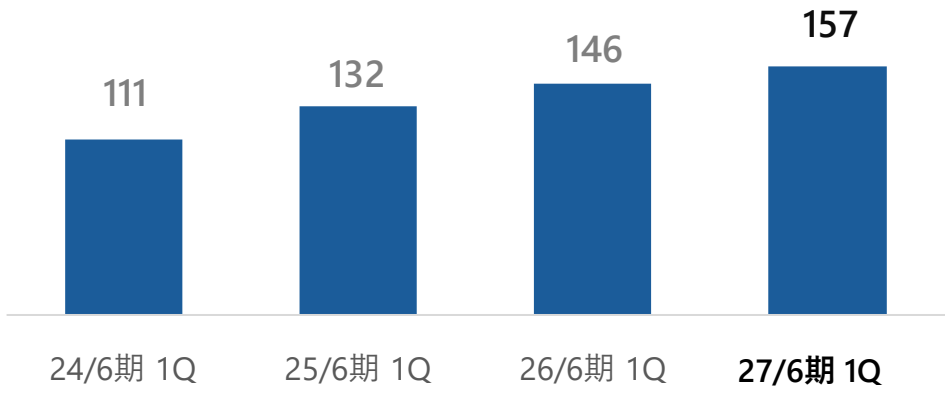
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

金融事業

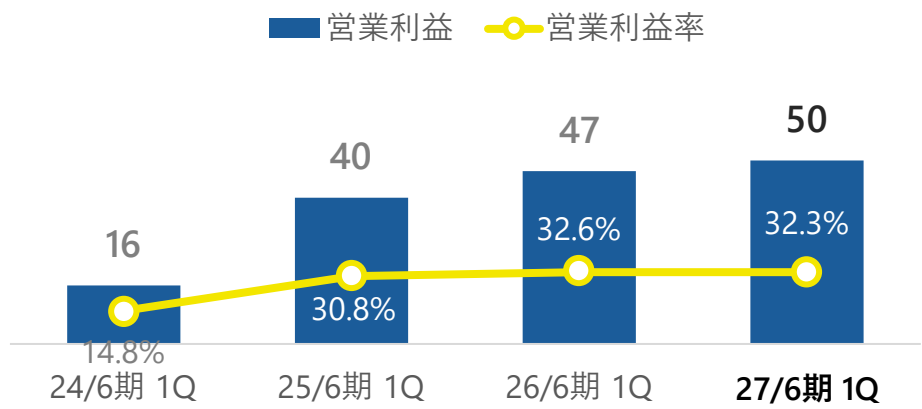
セグメント業績

	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	増減率	2027/6期（予）	通期進捗率
売上高（百万円）	146	157	+ 7.5%	1,049	15.0%
営業利益（百万円）	47	50	+ 6.5%	600	8.5%
営業利益率（%）	32.6%	32.3%	—	57.2%	—
リバースモーゲージ新規保証件数	134	110	▲ 17.9%	1,305	8.4%
リバースモーゲージ保証残高（百万円）	29,808	36,491	—	58,298	—

売上高推移



営業利益推移



■保証残高の積み上げにより増収増益で推移
■事業性極度型保証の新規提携、案件開拓も進み、２Q以降の高単価案件獲得を見込む

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

リバースモーゲージ保証 提携金融機関

HOUSEDO

56提携金融機関（2026年11月13日現在）

※リリース日基準

関東エリア

朝日信用金庫	世田谷信用金庫
足立成和信用金庫	瀧野川信用金庫
神奈川銀行	多摩信用金庫
川口信用金庫	中南信用金庫
きらぼし銀行	東栄信用金庫
小松川信用金庫	東京シティ信用金庫
埼玉縣信用金庫	東京スター銀行
埼玉りそな銀行	東京東信用金庫
さがみ信用金庫	東京ベイ信用金庫
さわやか信用金庫	飯能信用金庫
芝信用金庫	楽天銀行
昭和信用金庫	

中国・四国エリア

愛媛銀行	四国銀行
笠岡信用組合	玉島信用金庫
呉信用金庫	中国銀行
高知銀行	

東北・北陸エリア

大光銀行	福島銀行
富山信用金庫	

九州エリア

西日本シティ銀行

近畿エリア

大阪商工信用金庫	但馬銀行
大阪信用金庫	長浜信用金庫
関西みらい銀行	南都銀行
京滋信用組合	みなと銀行 NEW
湖東信用金庫	りそな銀行
滋賀中央信用金庫	

東海エリア

遠州信用金庫	中日信用金庫
三十三銀行	浜松磐田信用金庫
静岡銀行	尾西信用金庫
信用組合愛知商銀	富士信用金庫
静清信用金庫	三島信用金庫
知多信用金庫	

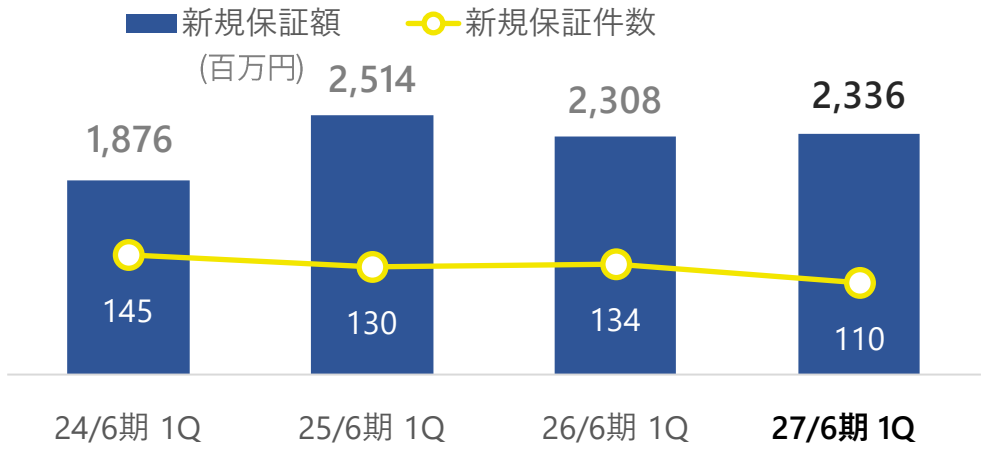
※五十音順、エリア区分は本店所在地

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

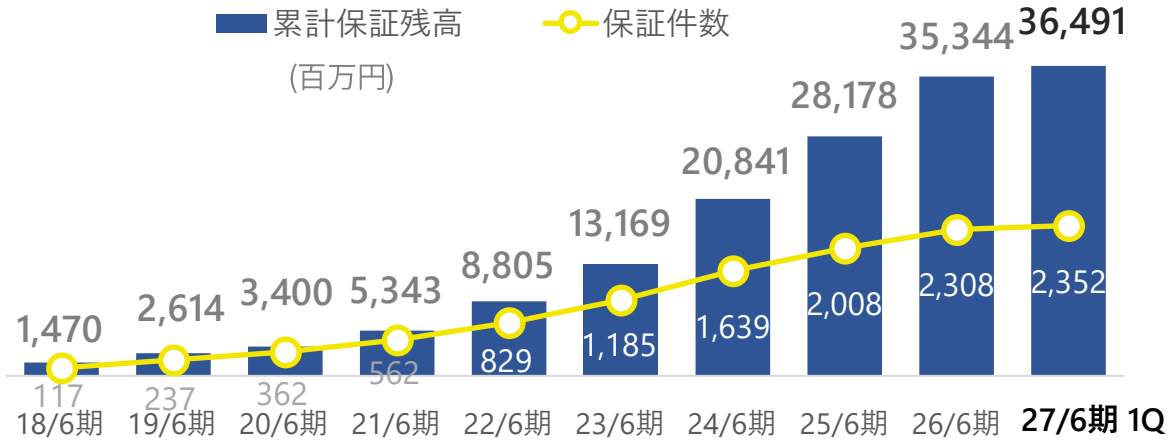
金融事業（リバースモーゲージ保証）

■新規保証案件は安定した水準で確保　事業性極度型保証の開始により、さらなる積み上げを図る

新規保証額・件数



累計保証残高・件数



新規保証件数

前期比　▲17.9 %

新規保証額

前期比　+1.2 %

累計保証件数

前期末比　+ 44 件

累計保証残高

前期末比　+ 11.4 億円

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

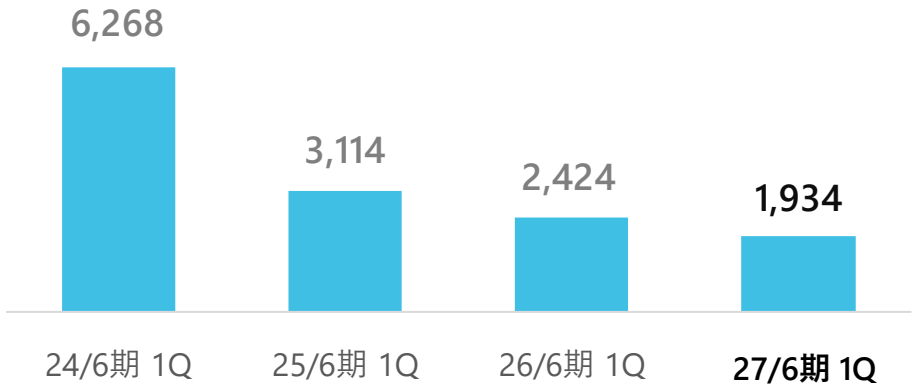
ハウス・リースバック事業

セグメント業績

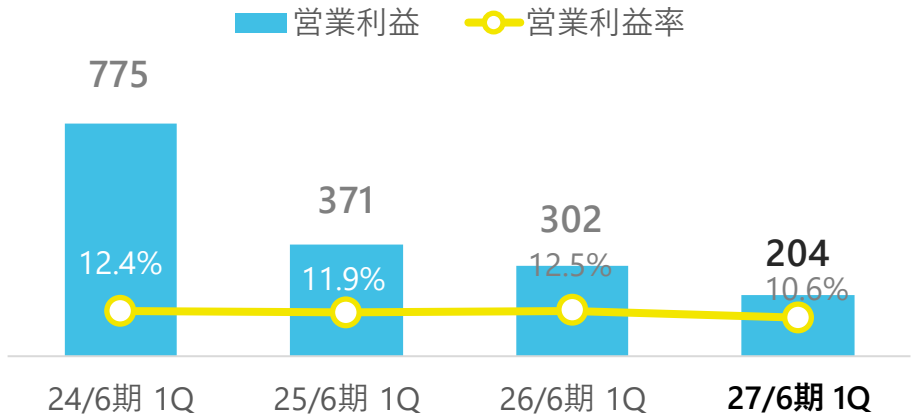
	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	増減率	2027/6期（予）	通期進捗率
売上高（百万円）	2,424	1,934	▲ 20.2%	4,190	46.2%
営業利益（百万円）	302	204	▲ 32.3%	220	93.0%
営業利益率（%）	12.5%	10.6%	—	5.3%	—
匿名組合投資利益含む利益	461	477	+ 3.5%	—	—
匿名組合投資利益含む利益率	17.9%	21.6%	—	—	—
物件取得数	67	22	▲ 67.2%	—	—
保有物件総額（百万円） ※	7,945	5,011	—	—	—

※退去分除く簿価ベース

売上高推移



営業利益推移



■前年同期比では減少となるが、保守的な通期計画に対しての進捗は大きく先行
■匿名組合投資利益を含む利益及び利益率は、前年を上回る水準を確保

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

INDEX

1. 2027年6月期　第１四半期　連結決算概要

2. 2027年6月期　第１四半期　セグメント別決算概要

3. 2027年6月期　年度計画及び中期経営計画

4. 会社概要

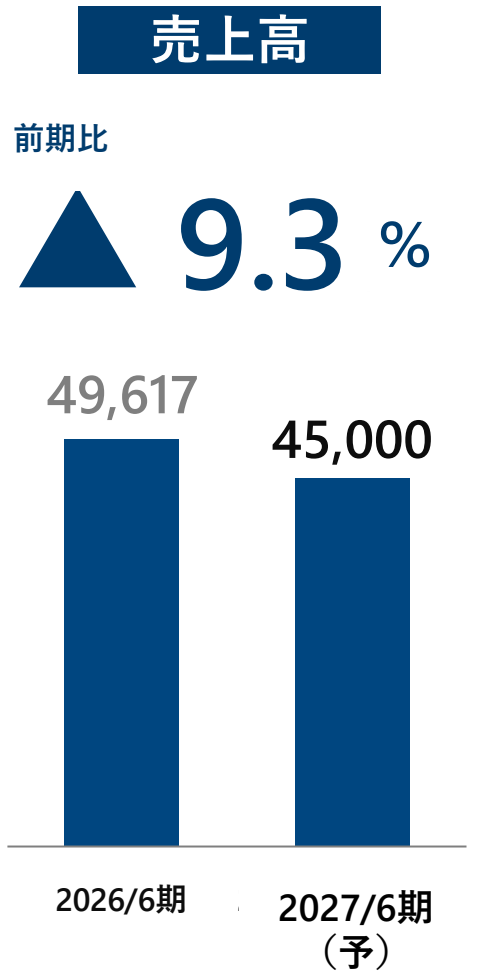
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

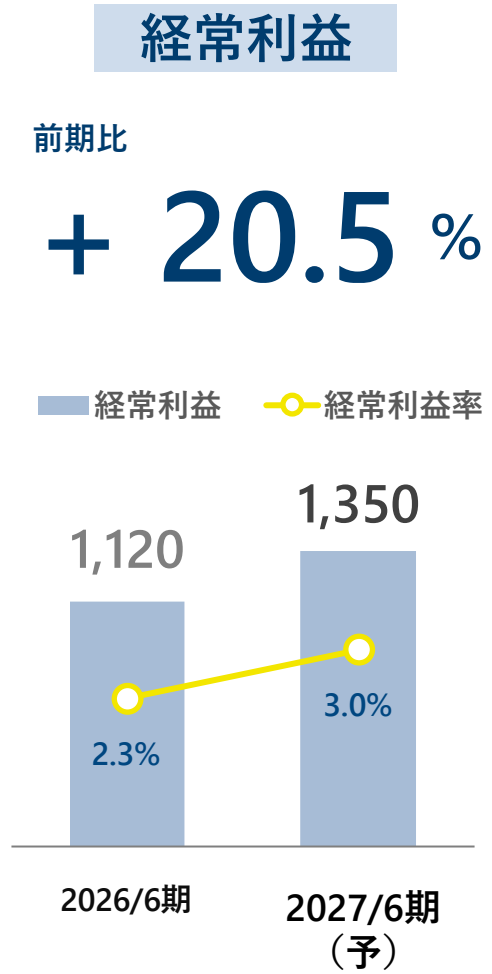
2027年6月期計画：連結業績予想

■売上高は、リフォーム事業譲渡及びﾊｳｽ･ﾘｰｽﾊﾞｯｸ事業縮小の影響により減収想定も、不動産売買事業と金融事業をドライバーに、営業利益及び経常利益は増益

■2026/6期は特別利益にリフォーム事業譲渡益（1,382百万円）を含むため、当期純利益は減少

	2026/6期 実績	2027/6期（予）	対前期 増減率
売上高	49,617	45,000	▲ 9.3%
営業利益	1,120	1,400	+ 25.0%
経常利益	1,120	1,350	+ 20.5%
税金等調整前当期純利益	2,468	1,350	▲ 45.3%
当期純利益	1,452	891	▲ 38.7%
1株当たり純利益（円）	72.74	44.62	—
1株当たり配当金（円）	46.00	46.00	+0.00
配当性向	63.2%	103.1%	—





Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

2027年6月期計画：セグメント別売上高・営業利益

■ フランチャイズ　：開発余力がある都市部強化エリアを選別し、プロモーションを重点化
■ 不動産売買　：人材確保に向けた投資継続、在庫の健全化を進めたことによる利益改善も見込む
■ 金融　：消費性・事業性の両軸で提携先の開拓を進め、残高積み上げのペースアップを図る
■ ﾊｳｽ・ﾘｰｽﾊﾞｯｸ　：取扱件数は現状水準を想定　保有件数の減少に伴う売却売上高減少の影響を見込む

単位（百万円）	売上高			営業利益		
	2026/6期 実績	2027/6期（予）	増減率	2026/6期 実績	2027/6期（予）	増減率
フランチャイズ事業	3,324	3,561	+ 7.1%	1,928	2,110	+ 9.4%
不動産売買事業	35,246	36,350	+ 3.1%	1,713	2,030	+ 18.5%
金融事業	641	1,049	+ 63.5%	262	600	+ 128.5%
ﾊｳｽ・ﾘｰｽﾊﾞｯｸ事業	9,595	4,190	▲ 56.3%	889	220	▲ 75.3%

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

新中期経営計画（2026/6～2030/6）基本方針・主要経営指標

■注力事業のウェイトシフトにより、事業ポートフォリオを再構築
■資本回転率の向上と利益率改善により、安定的かつ高いキャッシュ・フローを創出
■資本収益性を高め、持続的に企業価値向上が可能な基盤を築く

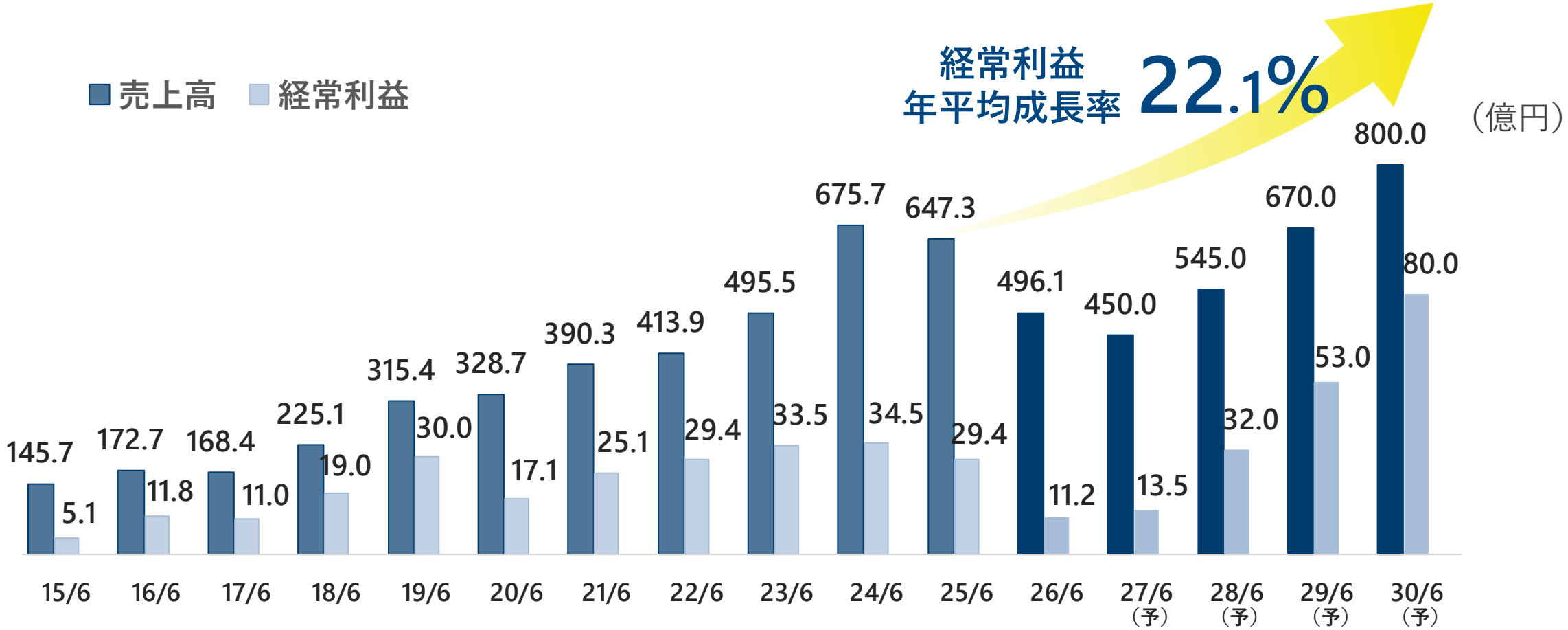
主要経営指標目標

	2030/6期		2030/6期
売上高	800億円	自己資本比率	30%以上
経常利益	80億円 経常利益率10%	ROIC	6.0%以上
当期純利益	53.0億円	株主還元	配当性向 30%以上

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

業績推移及び新中期経営計画（2026/6～2030/6）

■最終年度の目標値は据え置き　2030年6月期：売上高800億円　経常利益80億円
■2026/6期実績を踏まえ、不動産売買事業の在庫積み上げ及び成長拡大を後ろ倒し
■営業人員の確保が最重要課題➡人材投資を最優先



Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

ポートフォリオの再構築

成長性・収益性の高い事業に資源を集中 ▶ 強固な3本柱の確立

フランチャイズ

■サービスの基盤となるインフラ

・開発余地のある都市部を中心に広告・人材を投下
・人材補強により新規加盟開発、既存加盟店へのサポート強化

2030年目標

【 累計加盟店数 】

960店舗

725店舗

2025年6月末時点

不動産売買

■業績を牽引する成長ドライバー

・中古住宅買取再販のさらなる強化
・採用強化による人材補強
営業人員59.3名→250名
・利益率・回転率の向上

【 中古住宅売上高・比率 】

370億円（54%）

88.5億円（29%）

2025年6月期

金融（リバースモーゲージ保証）

■ストック＋将来収益機会の拡大

・新規提携金融機関の拡大
・不動産処分機会獲得による事業シナジーの創出

【 保証残高 】

1,250億円

281.7億円

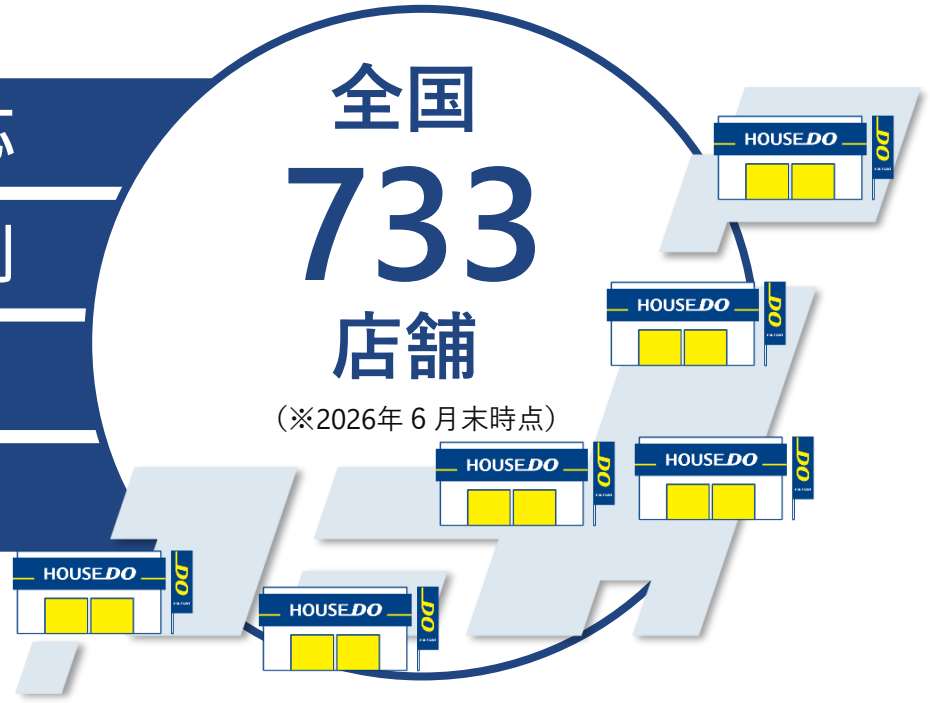
2025年6月末時点

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

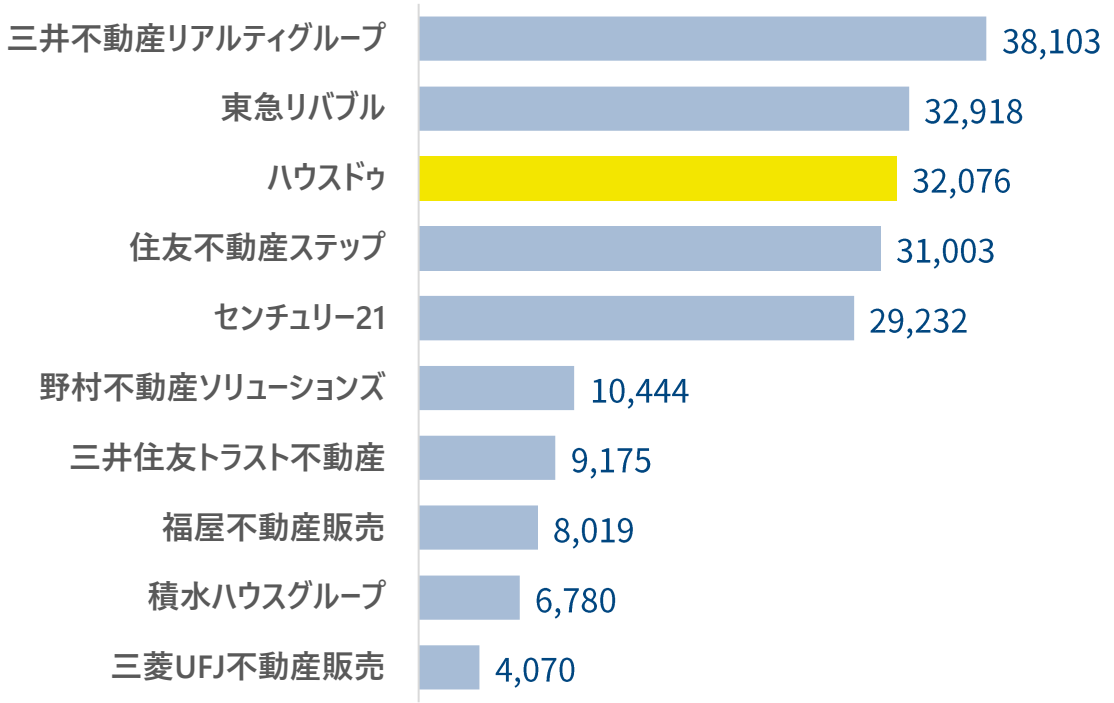
フランチャイズ事業

■グループシナジー、サービス展開のインフラ基盤及び安定したストック収益
■全国の店舗ネットワーク、業界トップクラスの取引量＝情報量がハウスドゥグループの強みの源泉
■情報のオープン化を推進し、お客様にとって安心、便利な窓口を全国に創出

全国対応
取引事例
査定力
販売力



流通大手各社の仲介件数



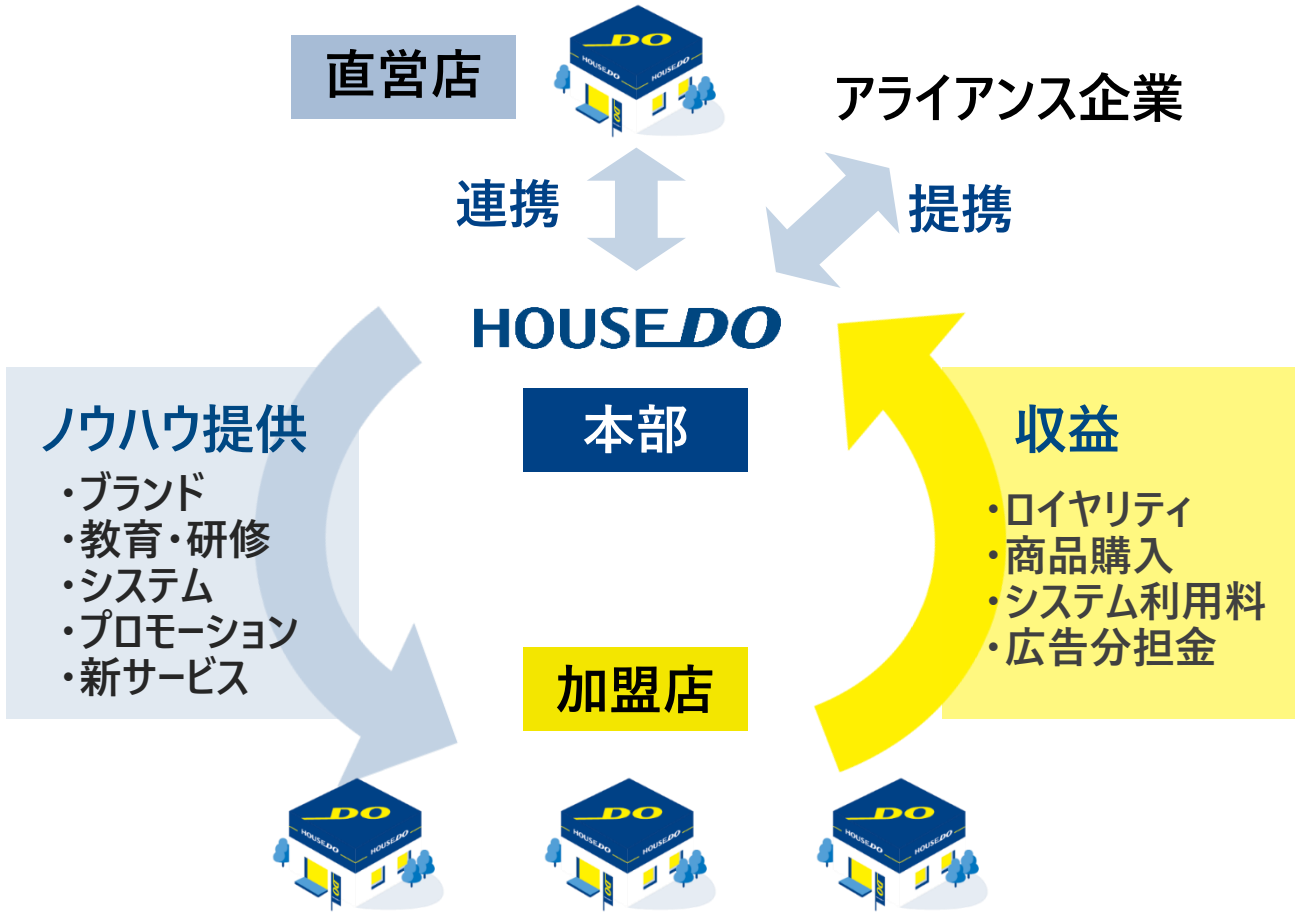
出典：公益社団法人不動産流通推進センター「2026不動産業統計集（3月改訂）」より加工作成。
ハウスドゥ実績は、2025年4月～2026年3月におけるハウスドゥチェーン合計。当社調べ。

Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

フランチャイズ事業

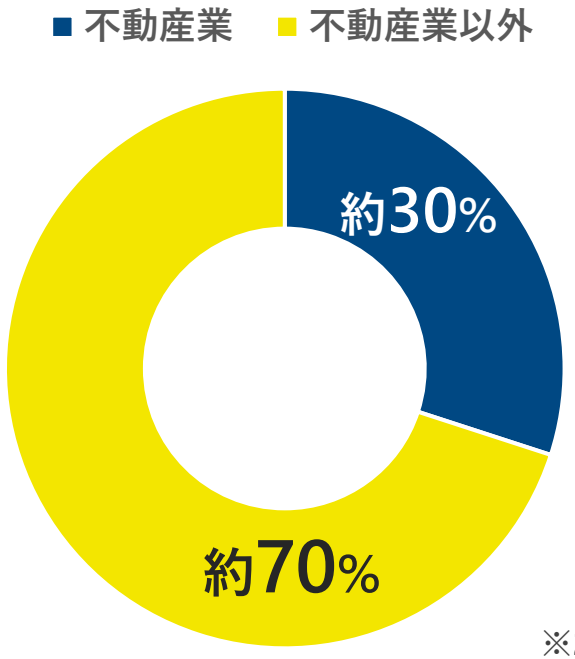
■直営店で培ったノウハウを加盟店に提供　不動産業者に限らず、異業種参入でも成功可能な仕組みにより、多様な加盟企業を獲得

■店舗数増加に伴う一定割合での退会を想定し、新規加盟開発の人材を補強
➡足元の契約数は上昇し、純増ペース



加盟企業　業種別比率

約70%が異業種からの参入



※2026年6月末時点

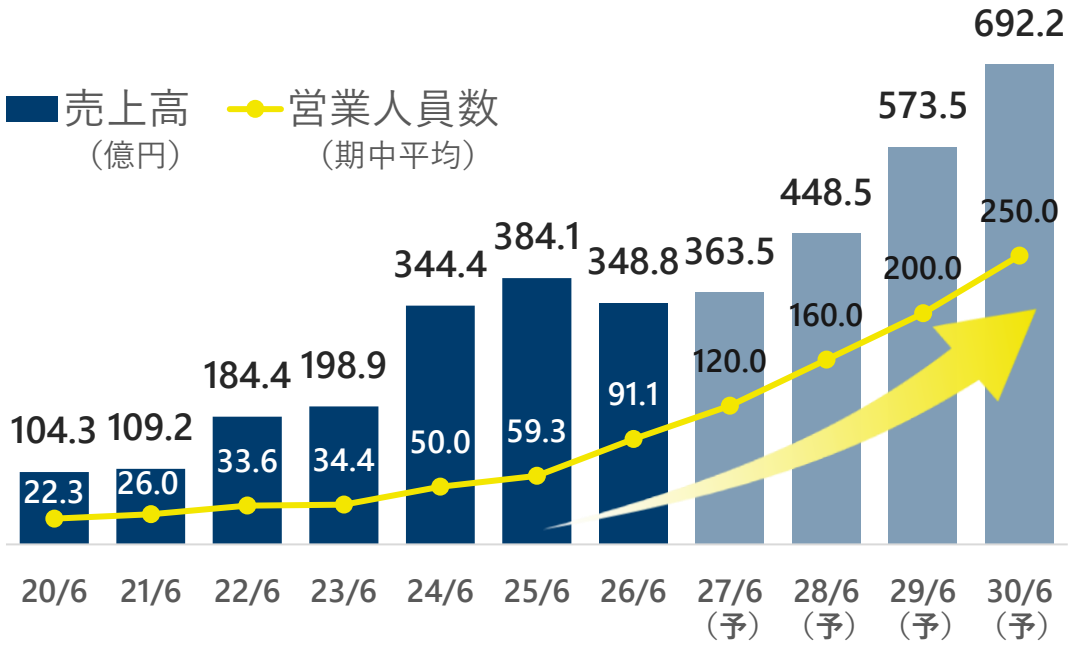
Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産売買事業

■コロナ禍の積極仕入を経て、飛躍的に成長
■流動性の高い地方都市部を中心に、人材補強と並行してエリア拡大を図る
■中古住宅買取再販に注力しつつ、市場のニーズに応じた不動産を提供

売上高推移・計画

引き続き成長ドライバーとして
売上高年平均成長率12.5％を目指す



展開エリア

直営22拠点

※2026年６月30日時点

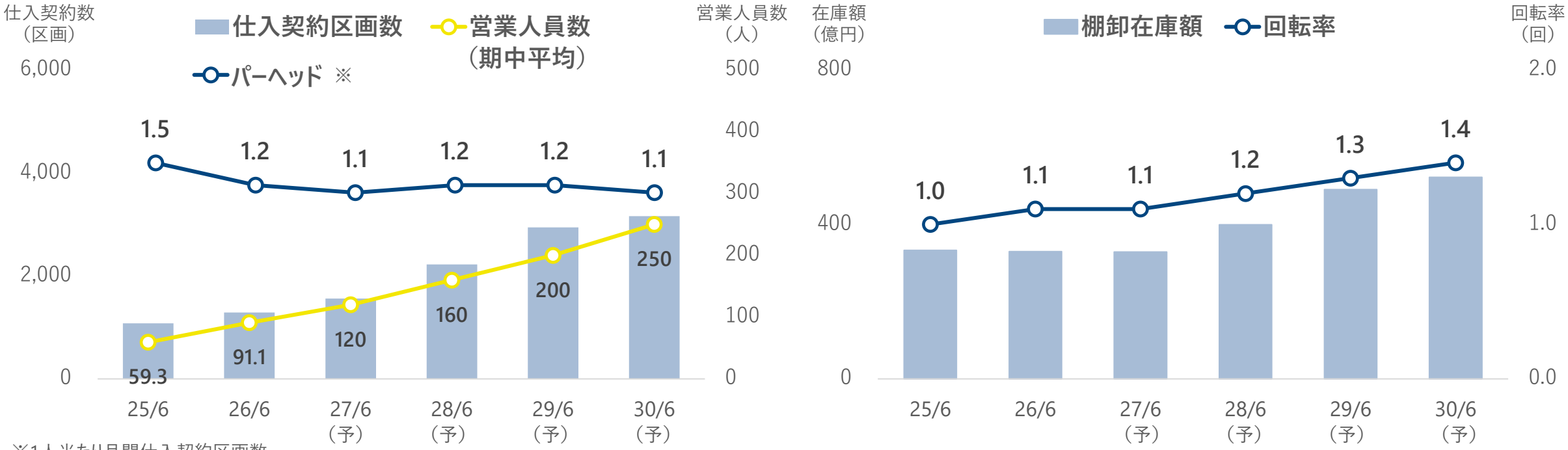


Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産売買事業

■2026/6期は業績計画を下回るも、営業人員数は確保
➡在庫の積み上げは、当初想定からは後ろ倒しになるものの、最終年度までにキャッチアップ可能
仕入は、前期から横ばいの保守的なパーヘッド水準で計画達成を見込む
■回転率は、中古住宅比率の増加及び厳格な在庫管理により、徐々に改善を想定

営業人数↗➡仕入件数↗ ➡売却件数↗
➡売上・利益↗



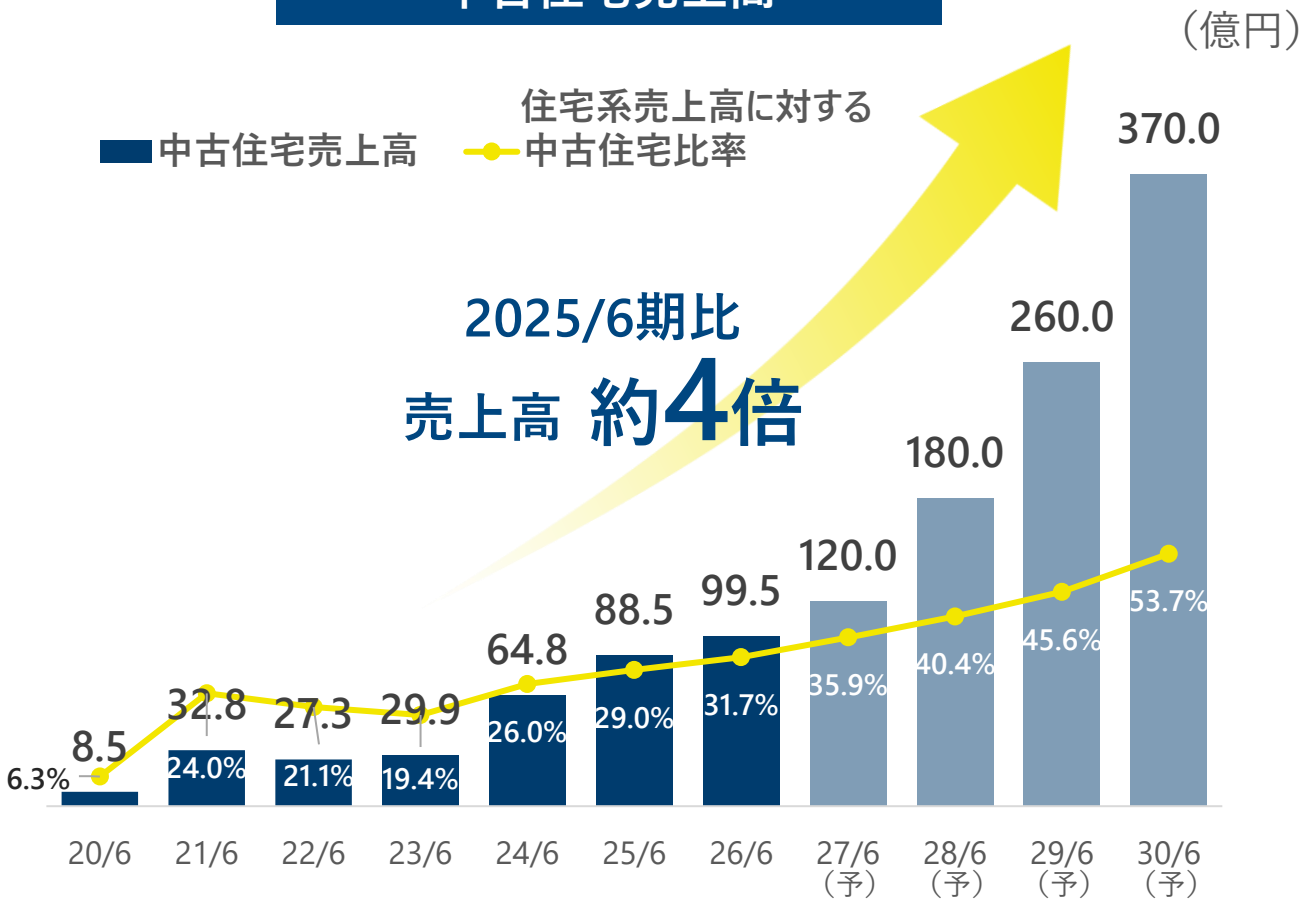
※1人当たり月間仕入契約区画数

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

中古住宅買取再販　5ヶ年計画

■住宅系売上高に占める中古住宅比率　2025/6期：29.0%→ 2030/6期：約54%まで拡大
■中古住宅比率の向上により資本回転率が改善、資本収益性の向上に寄与

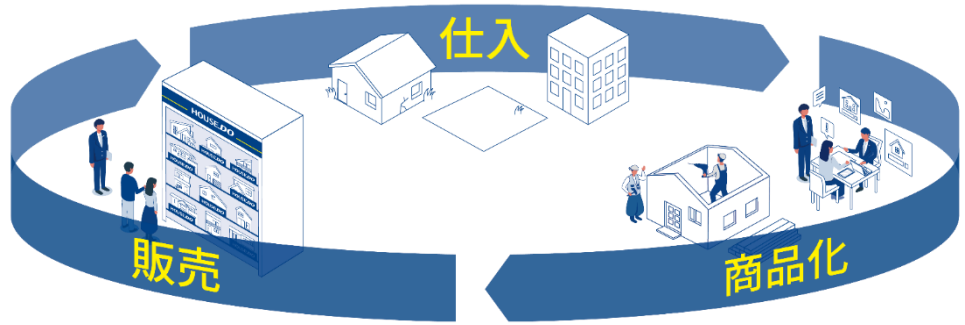
中古住宅売上高



SPA戦略

・フランチャイズ加盟店も含めた全国ネットワーク
・圧倒的な情報量と販売力で市場のニーズにマッチした商品を提供

仕入～販売まで一気通貫



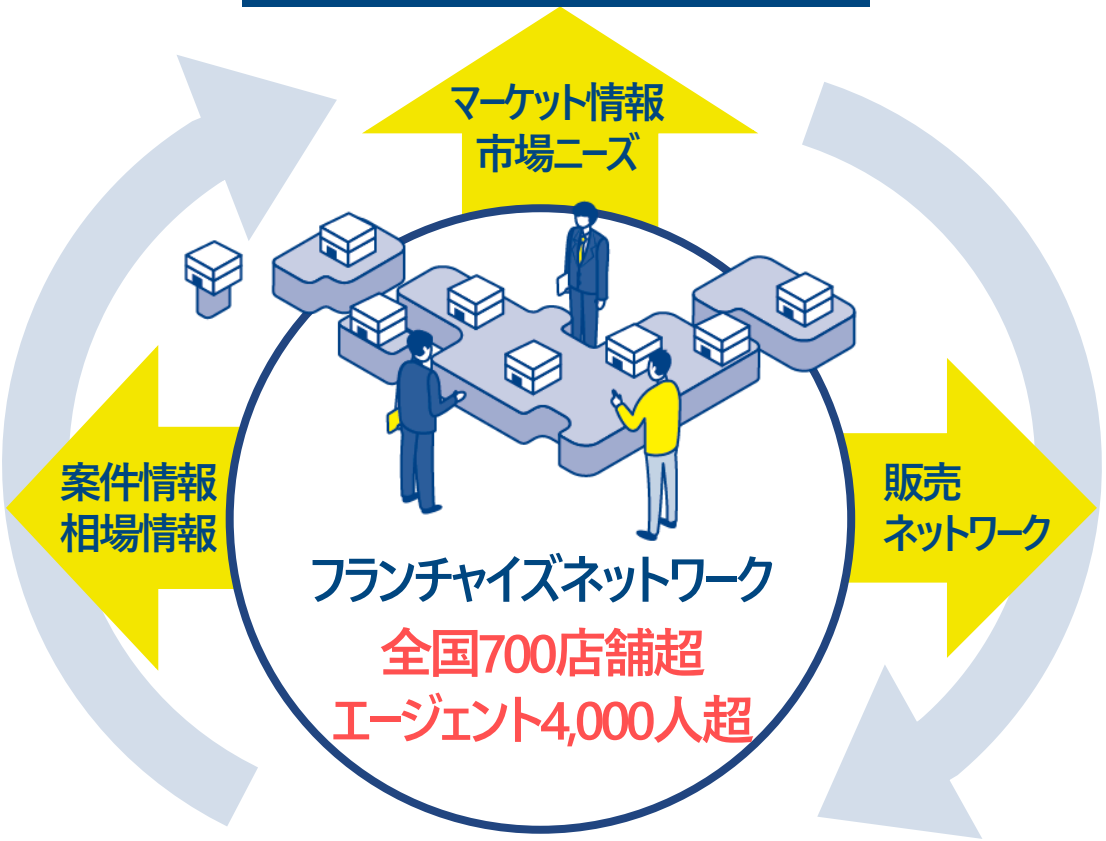
Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産売買事業における競争優位性

■仕入～販売まで、フランチャイズネットワークの圧倒的な情報量を活かしたSPA戦略を展開
■不動産業者・エンドユーザーからの仕入のほか、競争の少ない安定した仕入ルートを確保

商品化
（付加価値の創造）

市場に応じた商品に加工



仕入
（圧倒的な情報ソース）

多様な仕入れルートから
物件種別によらず仕入が可能

- 不動産業者経由
- エンドユーザー直接
- 加盟店紹介
- リバースモーゲージ保証
- 債権処理

販売
（強固な販売チャネル）

全国ネットワークによる販売力
➡積極的な仕入が可能

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

リバースモーゲージ保証事業　5ヶ年計画

■不動産価値の高い都市部を中心に、新規提携先の開拓及び既存提携先の接点を強化

■保証残高の積み上げに加え、将来的な不動産処分時の収益機会増加を見込み、受け皿の体制を構築

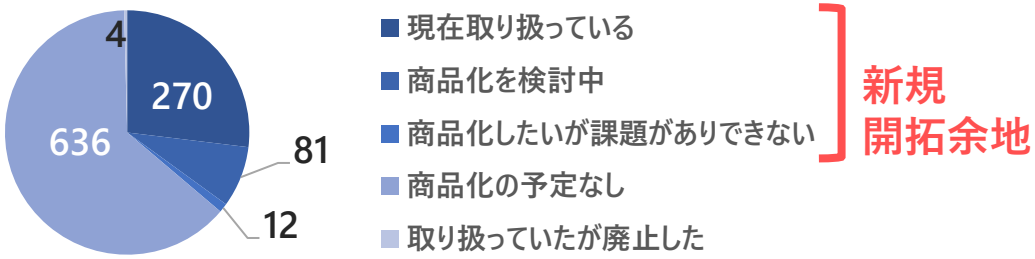
リバースモーゲージ提携金融機関

55提携金融機関

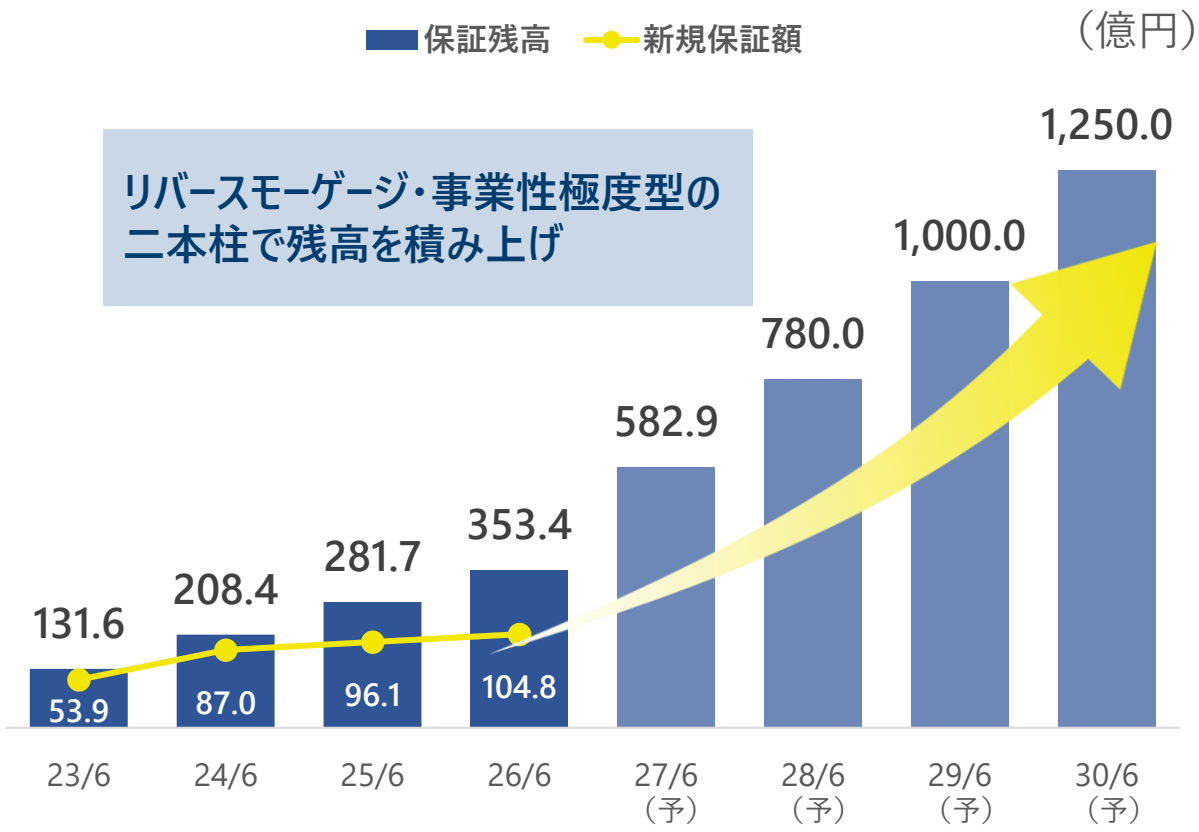
※2026年６月末時点



金融機関のリバースモーゲージ取り扱い状況



新規保証額・保証残高



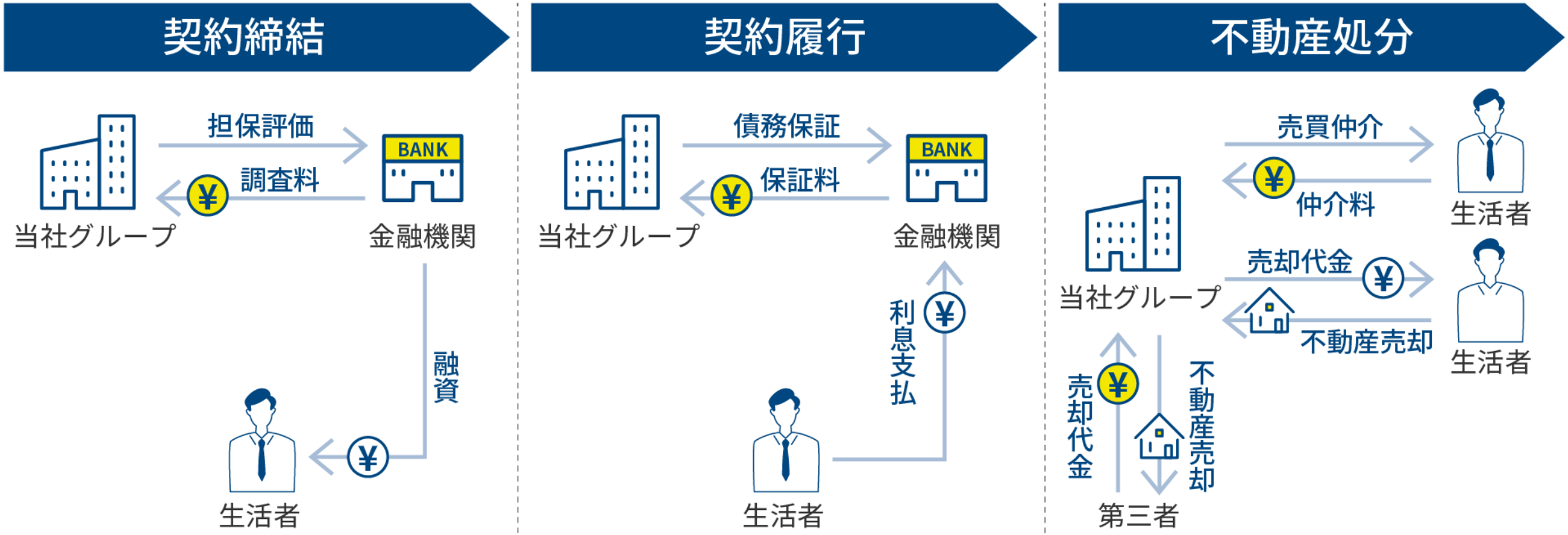
出所：「令和７年度民間住宅ローンの実態に関する調査結果報告書」より当社作成

Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

リバースモーゲージ保証事業

■リバースモーゲージは保有不動産を適正価格で査定し、不動産売却までワンストップでサポート
■バランスシートを使わない、収益性・資本効率性が高いビジネスモデルを構築

¥ And Doにとっての収益獲得機会

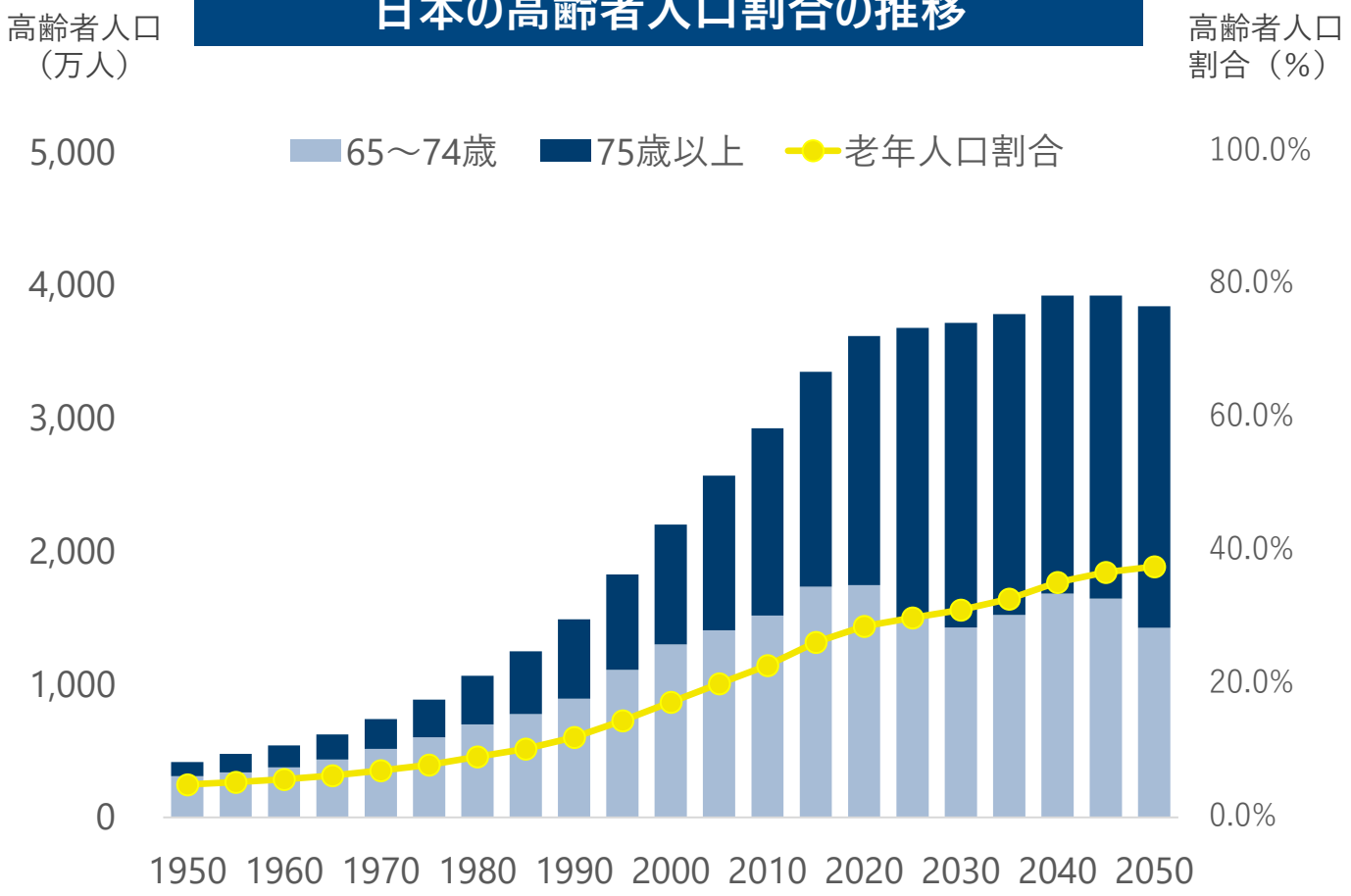


Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

高齢者の資金ニーズ

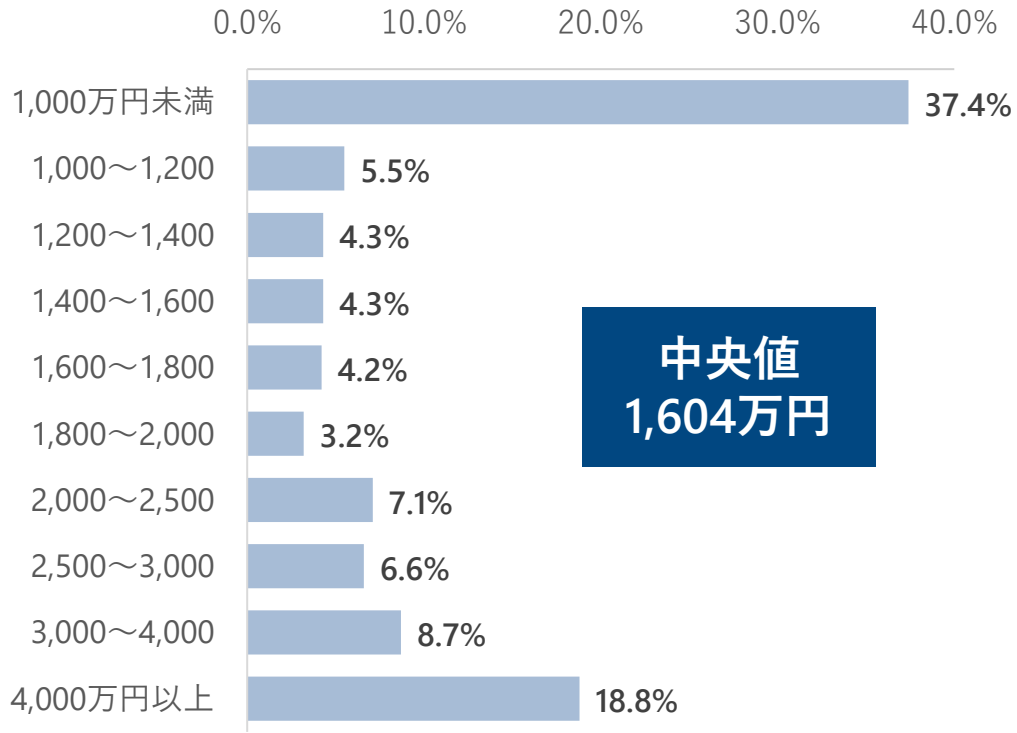
■高齢者人口割合は増加する一方、老後資金に対する貯蓄額は不十分な世帯は多い

日本の高齢者人口割合の推移



出所：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

世帯主年齢65歳以上世帯の貯蓄現在高分布



出所：「令和７年版　高齢社会白書」より当社作成

Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

不動産を活用した高齢者の資金ニーズ市場規模



2026年６月期末時点
保証残高353億円

60歳以上の持家比率は約80％※

※出所：「令和７年版　高齢社会白書」より

不動産を活用した使途自由な資金調達の潜在市場は莫大

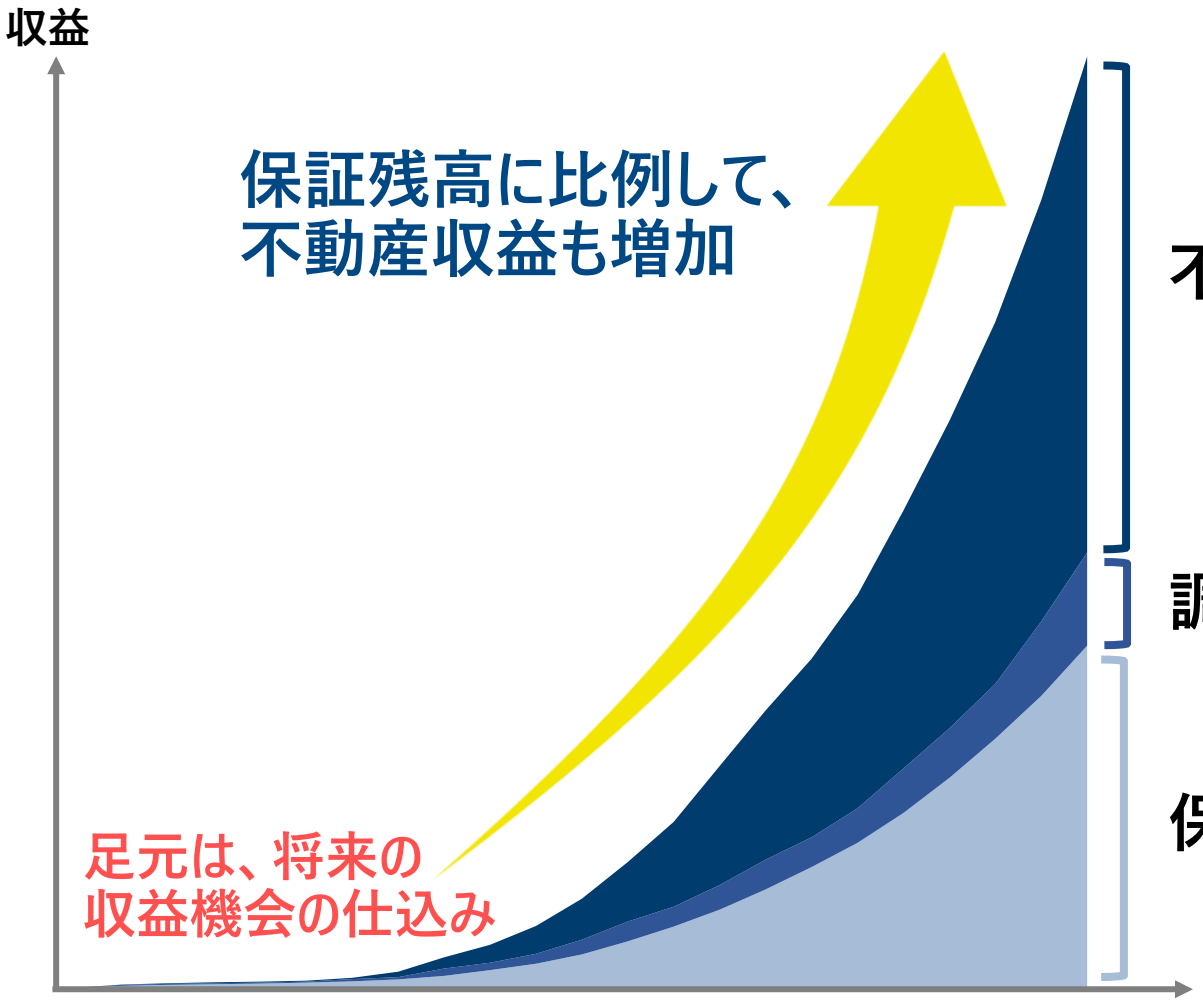
- 老後生活資金
- 住宅ローンの借り換え
- 相続対策
- 事業性資金　　etc...

※1 65歳以上世帯の貯蓄現在高分布の割合と同程度と仮定
※2 参考資料：第一生命経済研究所「リバースモーゲージの現状と展望」（2026年1月）

Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

リバースモーゲージ保証事業の収益機会

■残高の積み上げにより保証料収入に加えて、不動産処分時の収益を見込む



ストック＋フロー＋αの高収益事業モデル

不動産処分 ▶ **処分発生時の不動産収益**

■グループシナジーの活用
■将来にわたる販売機会獲得

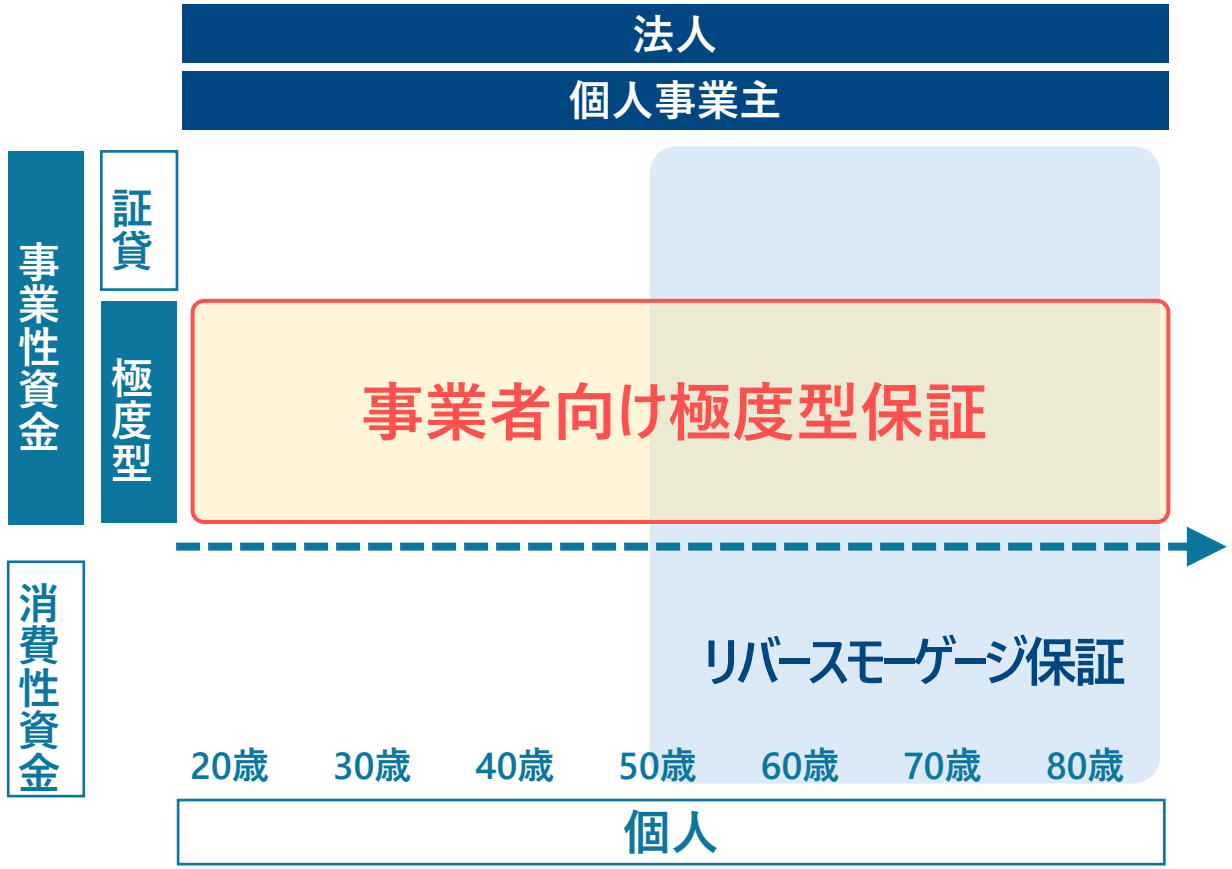
調査手数料 ▶ **担保評価時のフロー収入**

保証料 ▶ **残高積上によるストック収益**

Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

事業性極度保証

■リバースモーゲージでは対応できなかった、法人・若年層の個人事業主まで対象先を拡大
➡不動産を活用し、キャッシュ・フロー、財務基盤の改善を支援



第1号として足立成和信用金庫と提携

PRESS RELEASE
報道関係者各位

&DO HOLDINGS

2026年1月30日
株式会社 And Do ホールディングス（東証プライム 3457）
株式会社フィナンシャルドゥ

「事業性極度型保証」で足立成和信用金庫と提携
～“毎月の返済金額は利息のみ”期限一括返済で事業者の事業支援を推進～

ハウスドゥブランドで不動産事業を全国展開する株式会社 And Do ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役会長 CEO：安藤正弘、以下：当社）の連結子会社である株式会社フィナンシャルドゥ（以下：フィナンシャルドゥ）は 30 日、足立成和信用金庫（本部：東京都足立区、理事長：土屋武司、以下：同金庫）と提携し、4 月に開始予定の事業性極度型保証に対する不動産担保評価および債務保証を行います。

事業性極度保証　市場規模

中小企業向け貸出残高※1
約300兆円

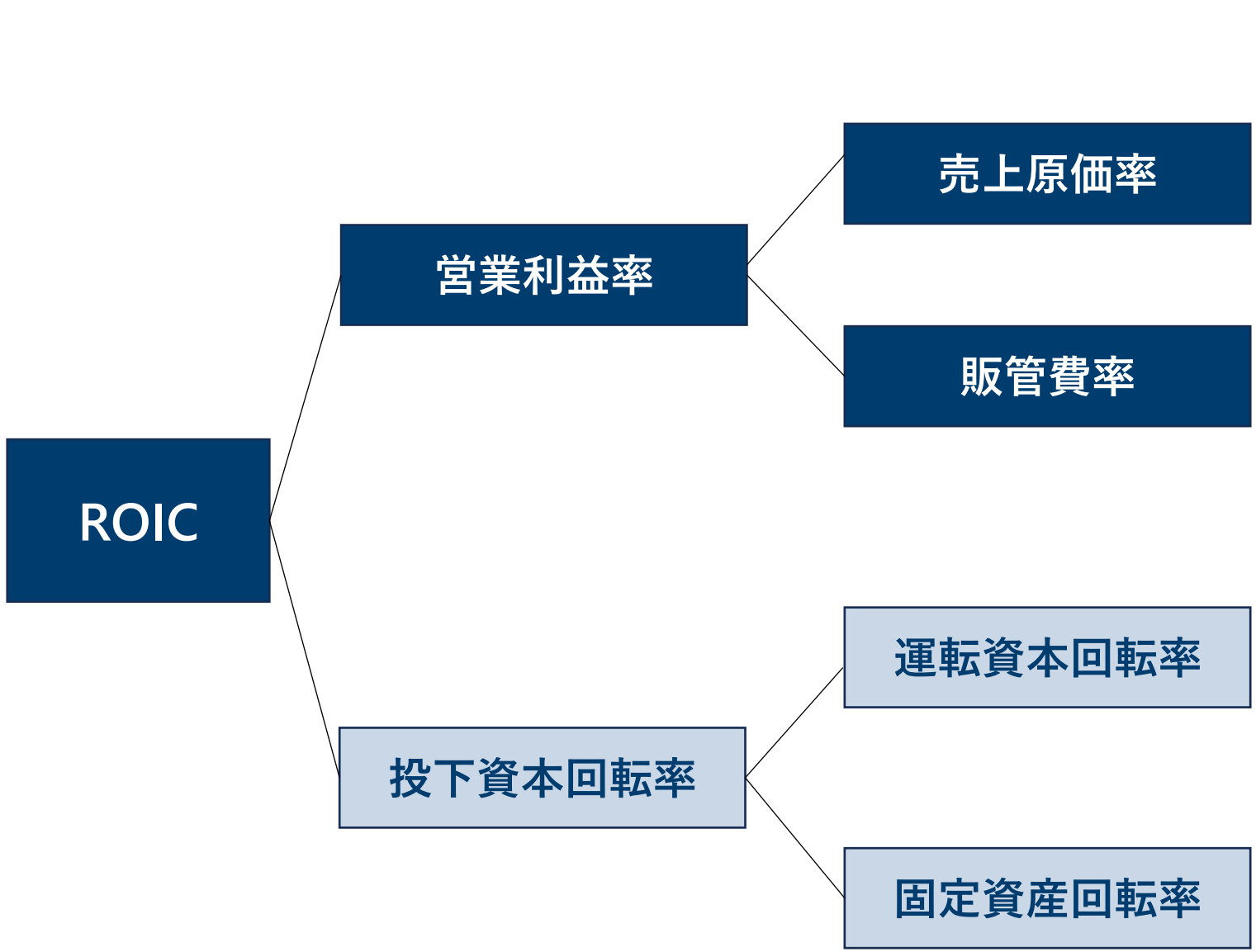
融資における不動産担保利用※2
約50兆円

事業性極度保証潜在市場※3
約10兆円

※1 日本銀行 貸出先別貸出金の中小企業向け貸出残高（2025年3月末時点）より、個人利用等を差し引いた残高
※2日本銀行 時系列統計データより、2024年度末の貸出に対する不動産担保の割合を乗算
※3 TSR景気動向調査結果（2025年12月調査）より、資金繰り（今後3か月の見通し）が、「苦しい」「やや苦しい」と回答した割合の合計を乗算

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

ROICの改善



改善に向けた取組

- 高利益率事業の成長
- 不動産売買事業の仕入精度向上による粗利率改善

- 事業の選択と集中、業務効率化による間接部門コストの削減

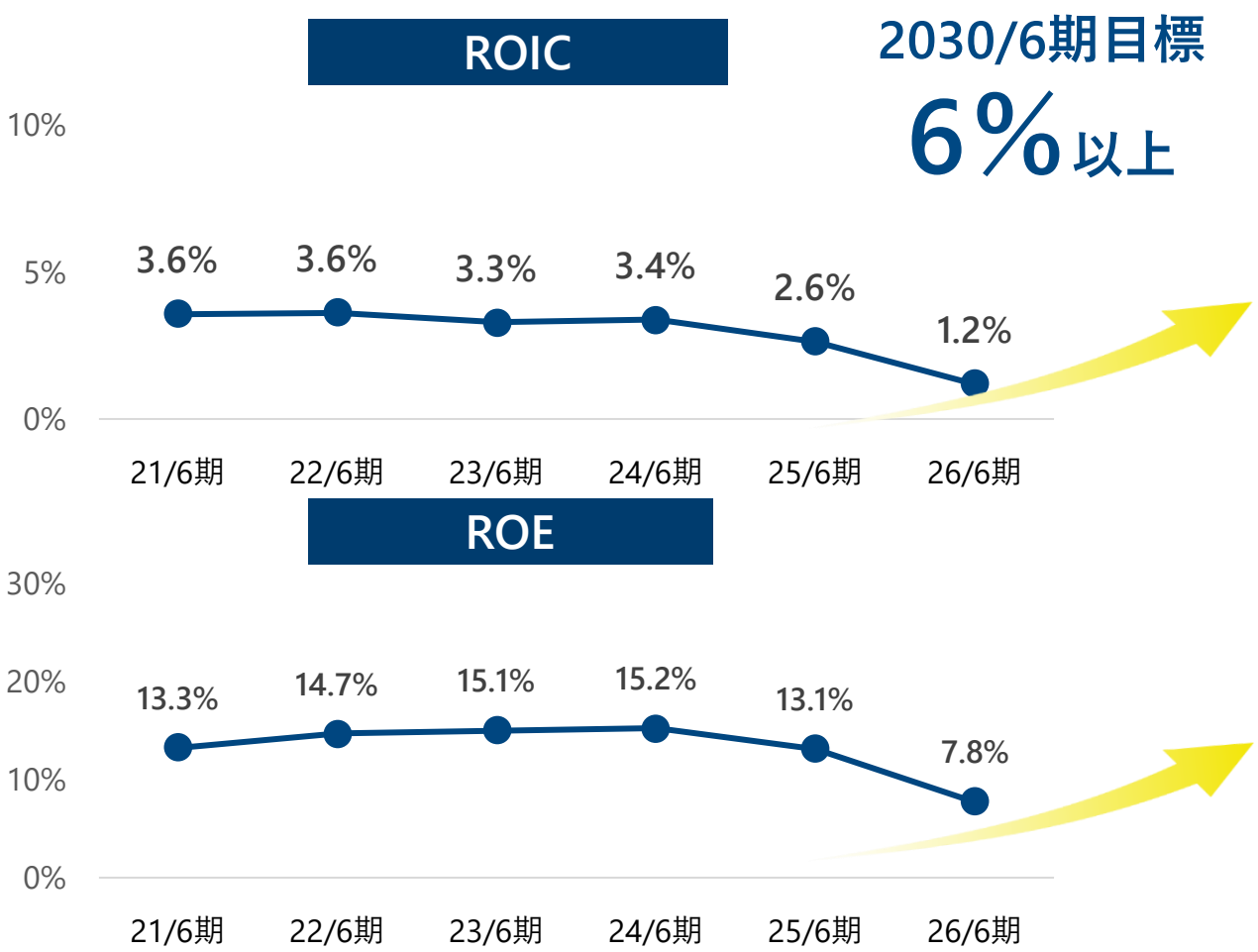
- 中古買取再販強化による在庫回転率向上

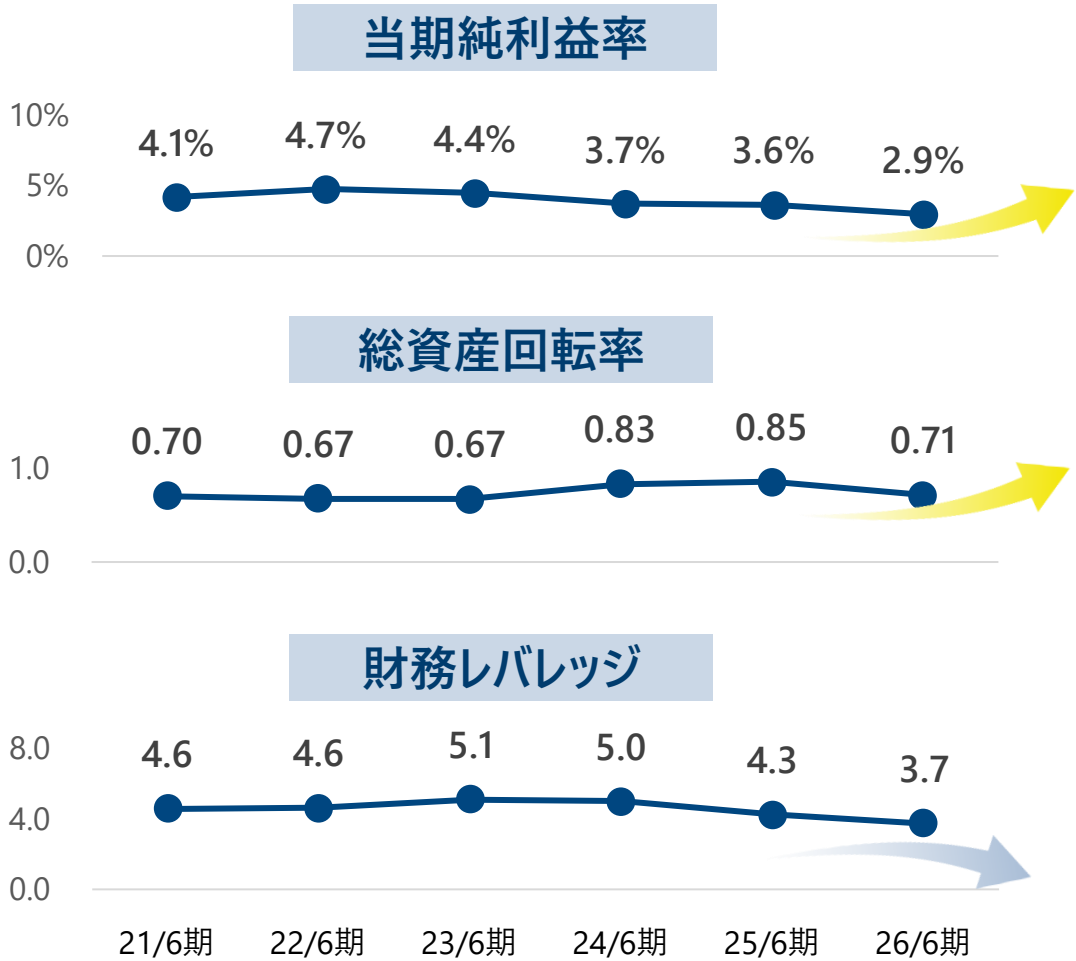
- 固定資産の売却

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

資本効率の向上に向けて

■利益の下振れにより、ROIC・ROEは2025/6期から2026/6期にかけて低下
■レバレッジは財務健全性の確保に向け、方針どおり抑制が進む
■2026/6期進捗の影響により、過渡期での一時的な資本効率低下が見込まれるも、改善に向けた施策は進行中

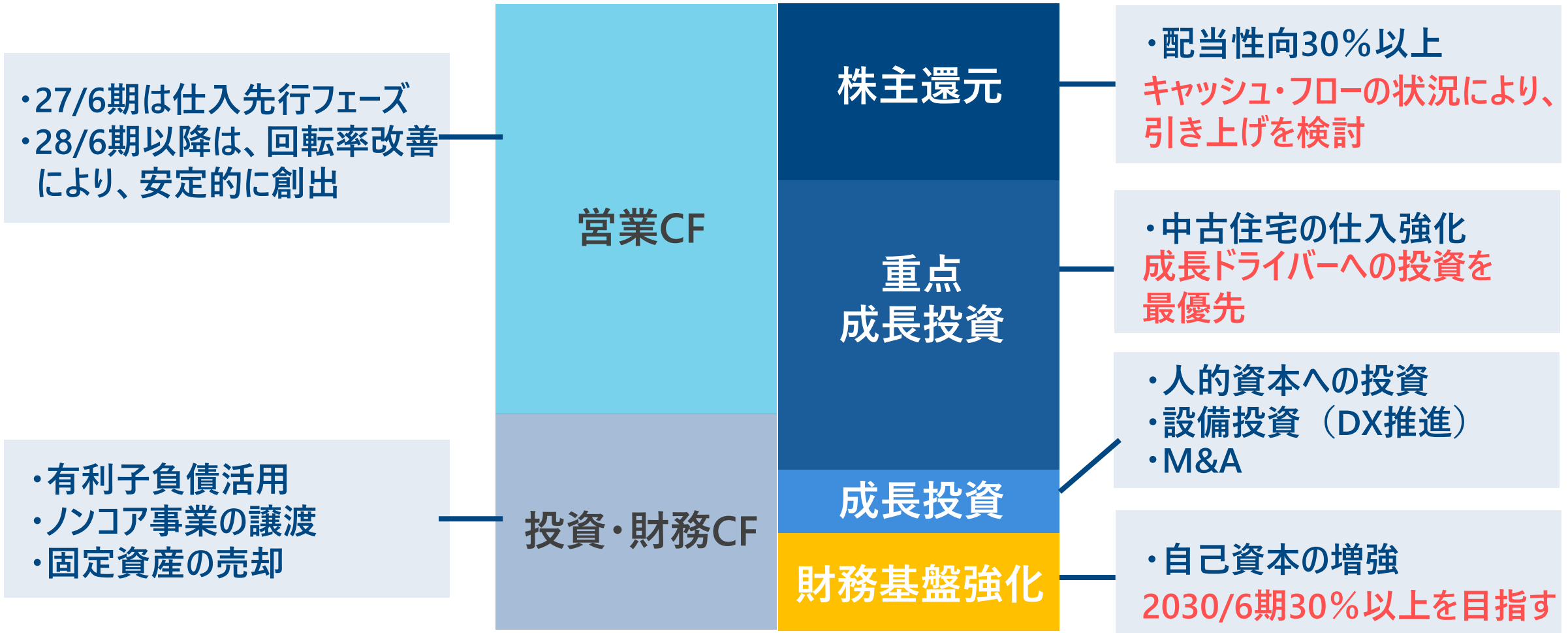




Copyright(c)&Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

キャピタル・アロケーション

■成長投資は、不動産売買事業の仕入を最優先に割当
■有利子負債は活用するが、利益の積み上げにより自己資本を充実させ、財務健全性を高める



Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

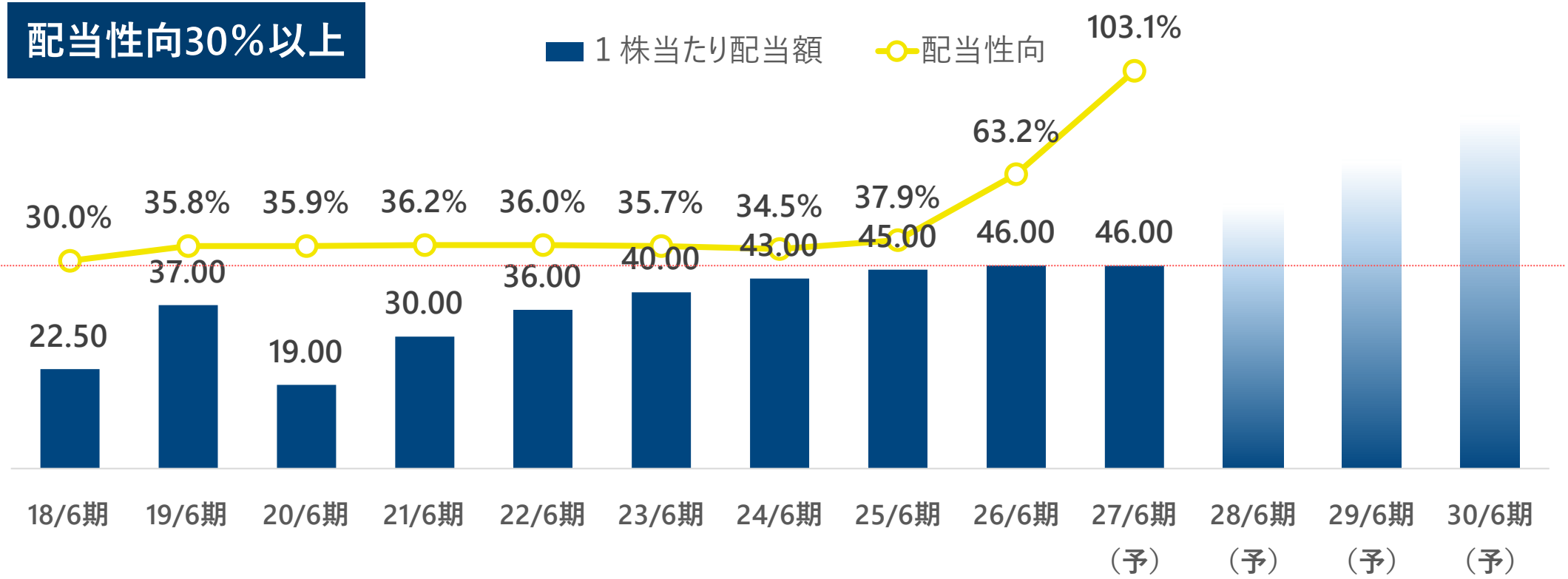
株主還元について【配当】

update

HOUSEDO

■将来の成長投資とのバランスを勘案し、配当性向30％以上を基本水準

■中期経営計画の進捗及びキャッシュ・フローの状況により、配当性向の引き上げを検討



※1株当たり配当額は、2018年7月1日付で普通株式1株を2株に分割した影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

1. 2027年6月期　第１四半期　連結決算概要

2. 2027年6月期　第１四半期　セグメント別決算概要

3. 2027年6月期　年度計画及び中期経営計画

4. 会社概要

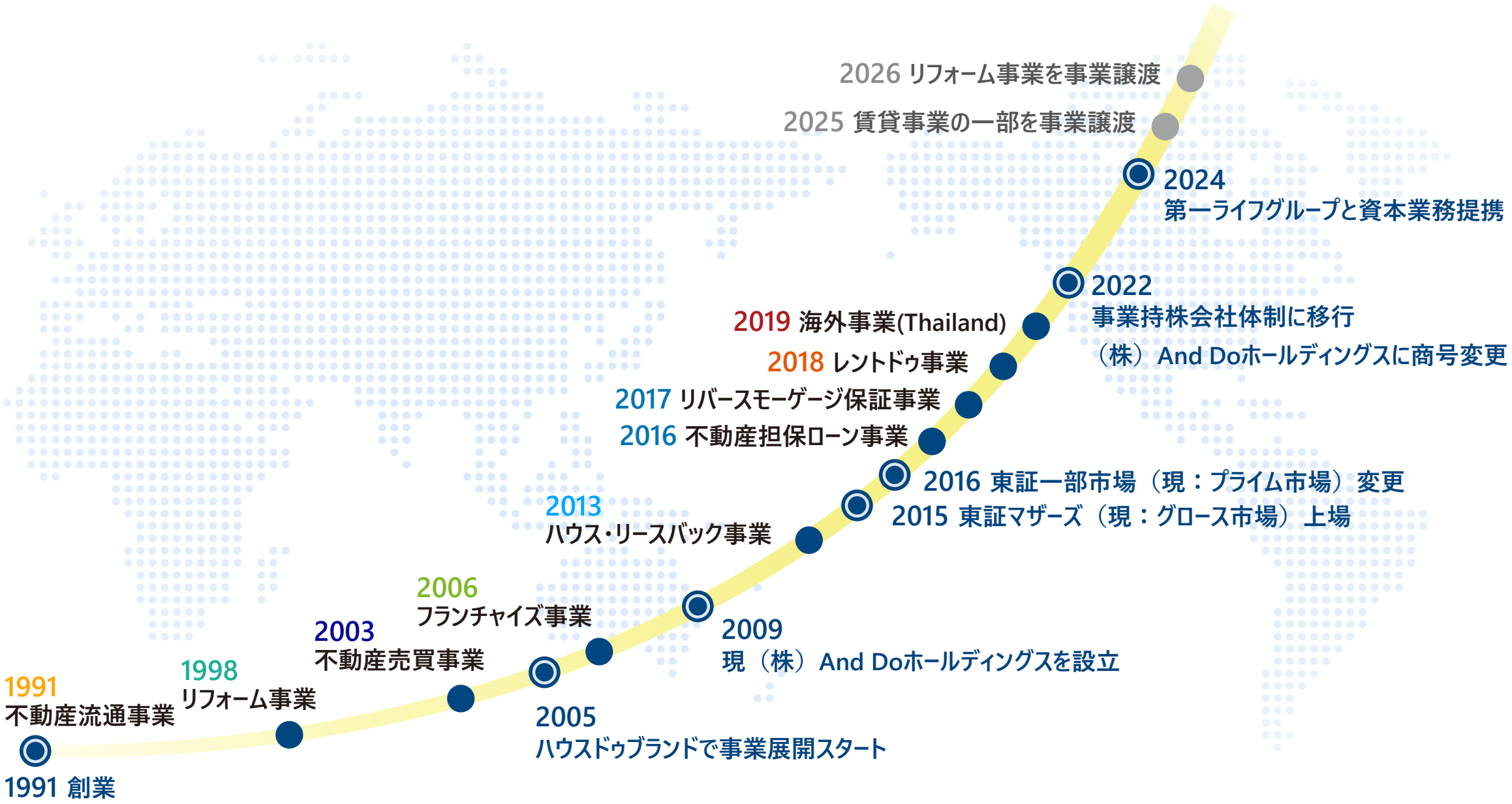
Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

会社概要

会社名	株式会社And Doホールディングス
代表	代表取締役会長 CEO　安藤　正弘 代表取締役社長　　冨永　正英
設立	2009年1月　（創業　1991年）
資本金	34億71百万円（2026年6月期末時点）
証券コード	3457
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
売上	496.1億円（2026年6月期　グループ連結）
従業員数	525名（2026年6月現在　グループ合計）
本社	東京都千代田区丸の内1丁目8-1　丸の内トラストタワーN館17F
本店	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670番地
事業内容	フランチャイズ事業、不動産売買事業、金融事業、ハウス・リースバック事業

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

会社沿革・事業展開



Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

全国の店舗網を基盤に、事業シナジーにより持続的成長を図る

累計契約7,000件超



ハウス・リースバック事業

案件

金融事業

保証残高
約350億円

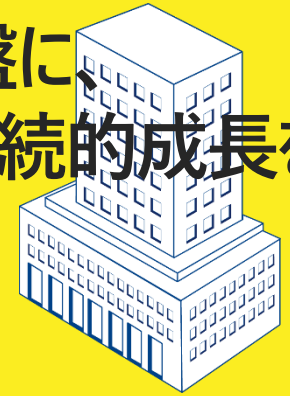


案件



不動産売買事業

提携



第一ライフグループ

ノウハウ



不動産査定チーム

査定

査定

案件

情報

情報



全国約700店

フランチャイズ事業

情報

ノウハウ

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved

業界を変える！

―お客様のための業界へ―

国内1,000店　アジア50,000店へ！

&DO HOLDINGS

―将来見通しに関する注意事項―

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社グループは、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

■IR情報　https://www.housedo.co.jp/and-do/ir/

■IRに関するお問い合わせ　Email：housedo-ir@housedo.co.jp　　ＴＥＬ：03-5220-7230

Copyright(c) &Do Holdings Co., Ltd. All rights reserved